



これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンブル(商標)を施し、ロゴマークが完成しています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト (若さ、情熱、広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。

翔生

vol. 38

平成 16 年 3 月号

発行
全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中川企業振興部内
TEL 03-3288-7847
<http://www.icci.or.jp/>

編集

■広報委員会

担当副会長
委員 長
副委員 員

清水 雅文
丸山 信仁
小鯖 利弘
山本 朝孝
東郷 隆浩
川井 真太郎
山田 英樹
清水 俊智
菊池 健二



平成 15 年度
全国商工会議所
青年部連合会長
鈴木 健介

心からの 感謝を込めて・・・

「今こそ、こういう時代だからこそ、YEGが定番だ!」。昨年4月、商青連会長としての第一歩を踏み出す時に思ったこととであります。YEGについて自分なりに真剣に考え、自分なりに一所懸命活動してまいりましたこの一年間を振り返る時、今ほどその思いが強くなっている時はありません。

9つの異なる地域がその特色を精一杯表現しつつ、ヨコに繋がることができた9つのブロック大会、「全国大会米子大会」でのあの熱気、「全国会長研修会ふくい会議」の分科会での全国からの単会会長の皆さんのあの真剣な眼差し、初めての試みであった「YEGビジネスプランコンテスト」、各地YEGの事業のデータベース化を目指す「YEG大賞」、3万人を繋ぐWEB版ビジネスネットワーク「こ縁満開YEGビジネスサイト」、「翔生塾」等々枚挙に暇がないくらい盛りだくさんの一年でした。そのひとつひとつの場面で目撃させていただいた

YEGメンバーの皆様の真剣な眼差しと枯れることのないエネルギー。そして、「自分だけでよければ」ではなく、「自分も皆も」という志の高さ。少し自信を失いつつあるこの国ではありますが、我々YEGの素晴らしい仲間が「自分から、自分らしく、皆のために」手を携えて一歩一歩前に進むことが出来れば、私は必ずこの国を夢と品格のある「美しい日本」に創り直すことが出来ると確信しております。

地域で育ち、地域を良く知り、地域を愛する若い者たちが、その地域のために役立とうと、自らの商売を通じて、自ら考え自ら行動する各地の単会、道府県連、ブロック。そしてそのサポーターたらぬとする商青連。私はこのYEGに限りない可能性を実感しています。

先輩方の大変なご努力のおかげで生まれ成長してきた商青連という生命体が、新しい世紀に新しい使命を得た平成15年度でありました。力不足の會長故、その可能性を充分には開花させることは叶いませんでしたが、YEGが本当に必要なとされるこの時代に、その新たな役割を果たしていくために必要な「力」と「しくみ」という果実の種蒔きはできたのかなと自負しております。そして、それらの種のいくつかは芽吹き始めたようです。まだまだ、ささやかな、弱い芽であります。

平成15年度が終わろうとしている今、商青連も新しい年度に向けて力強く胎動を始めました。その芽に陽を当て、水をやり、必要に応じて肥料もやり、花を咲かせ、そして大きな実を結ぶように大切に育てていこうという決心を胸に、その実行のための綿密な計画を携え、小園会長率いる素晴らしいスタッフの方々が勢ぞろいして、今か今かとスタートの号砲を待っています。次年度の商青連にも倍旧のご声援をいただければ幸いです。

どうか、商青連をご自分の単会、道府県連、ブロックの活動に、そしてご自分のご商売にせいぜいご活用ください。「美しい日本」の創造に向かってYEGは進化し続けます。もし使い勝手が悪いく所がありましたら、ドシドシご意見をください。

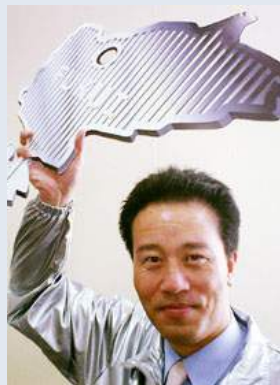
最後になってしまいました。浅学非才の會長にお付き合いただき、そしてたくさんの励ましを、時にはお叱り、しかし、終始一貫暖かくお支えいただきました。全国401単会、3万人の会員の皆様に、そして身内ごとで恐縮ですが、素晴らしい平成15年度商青連役員の仲間に、衷心からの感謝を申し上げます。

鍵を探せ！ 鍵を選べ！！ 鍵を握れ！！

ピックアップYEG

研修会日程	分科会
【平成16年2月12日(木)】 前泊者交流会 19:00 ~ 21:00 福井ワシントンホテル	16:20 ~ 18:20 (各会場毎) ○YEG とビジネスの鍵分科会 福井ワシントンホテル (天山) ○YEG とまちづくりの鍵分科会 福井商工会議所(コンベンションホール他) ○YEG とコミュニティの鍵分科会 フェニックスプラザ (小ホール)
【平成16年2月13日(金)】 商青連絡会議 正副会長会議 8:00~8:45 福井ワシントンホテル 正副会長・次年度正副会長会議 8:45~9:30 福井ワシントンホテル ブロック代表理事会議 8:45~9:30 福井ワシントンホテル 各委員会 8:45~9:30 福井ワシントンホテル 次年度役員予定者会議 9:30~10:30 福井ワシントンホテル 役員会 10:30~11:30 福井ワシントンホテル 登録受付 10:00~12:45 フェニックスプラザ 開会式 12:45~13:45 フェニックスプラザ 次年度開催地PR 13:45~14:00 フェニックスプラザ 商青連オリエンテーション 14:15~15:20 フェニックスプラザ	第3回『YEG 大賞』ノミネート紹介 18:53 ~ 19:20 フェニックスプラザ 大懇親会 19:25 ~ 21:00 フェニックスプラザ
	【平成16年2月14日(土)】 登録受付 8:00 ~ 9:00 福井商工会議所 ピックアップ YEG 総括 9:00 ~ 10:45 福井商工会議所 会員総会 11:00~12:25 福井商工会議所 閉会式 12:25~12:30 福井商工会議所 全国大会開催地連絡会議 13:00~15:00 福井商工会議所 ブロック大会開催地連絡会議 13:00~15:00 福井商工会議所

ふくい会議を終えて



第21回全国会長研修会
福井会議大会会長
林 洋三

感謝の気持ちでいっぱいです。全国からご参集いただいた YEG の皆様、ふくい会議に参加頂きまして本当にありがとうございました。主管 YEG を代表し、心より感謝申し上げます。

ふくいってどんなところだろう？
本当に勉強になるのだろうか？
食べ物はうまいのだろうか？
会長研修会って何をやるのだろうか？

いろいろな思いを胸に福井までご参集いただいたと思います。商青連事業として主管させて頂きましたが、やはり、今までの会長研修会の実績に傷をつけないように、鈴木会長の方針と矛盾のないように、多くの先輩と商青連役員の皆様のご協力とご指導をいただいてなんとか会議を無事終了することが出来ました。

最終的には、参加頂いた皆様の会議に臨む積極的な姿勢、あたたかいご協力の賜物でありました。全国の YEG メンバーの友情に感謝します。

大会を主管するにあたり、福井 YEG のメンバーはすごく大変な事業を引き受けてしまったかとも思いません。しかし、会議終了後の福井 YEG メンバーは、自画自賛になりますが、ものすごく輝いていました。全国の YEG の皆様に福井 YEG メンバーの魂も磨いていただいたのだと、重ねて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

それでは、次年度開催地 岡山での再会を楽しみにしております。

----- ふくい会議を終えて -----

全国YEGの皆様、本当にありがとうございました。

第21回会長研修会 ふくい会議を無事に、また盛大に開催させていただくことができました。

各地商工会議所の皆様をはじめ、ご後援いただきました関係機関・団体、青年部OBの皆様、ご協賛企業の皆様、そして何よりも全国のYEGの皆様にご心より御礼申し上げます。

「鍵を探せ！鍵を選べ！！鍵を握れ！！ ピックアップYEG」のキャッチフレーズの下、「いいものを吸収し、よりいいものとして発信」「ふくい会議は、YEGのDNAを進化させる場」を目標に1年間、がむしゃらな思いで取り組んでまいりました。



第21回全国会長研修会
ふくい会議 実行委員長
清川 卓二

今回は、商青連の各委員会との連携、各単会との連携を深めることにより、分科会での事例発表、さらにはYEGビジネスプランコンテストを含め、全国から21もの優秀な事例を参加者に紹介することができました。

ふくい会議においては、福井YEGの熱い想いを全力でぶつけることができました。今回参加された全国YEGのみなさんは様々なプログラムの中から「鍵」を探し、選び、握っていただくことはできましたでしょうか？

何より福井YEGが全国YEGのみなさんより、多くのすばらしい「鍵」をいただいたと感じています。実行しているときは、解からなかったことや、当然だと思っていたことが、実行した後、謎が解け、見方が変わる、そんな経験を今回させていただきました。

YEGは、人生の学校であり、経営者の学校であり、感情と理論がぶつけ合える場であると、あらためて実感いたしました。成功、失敗は、やるまでは重要だと想っていました。

やった後は、我々にとって成功、失敗が重要でなく、信念を持って妥協せずにやり遂げたことが重要であることが解りました。

また、その中で、経営者としての大切なものを得ることができた実感しています。最後に全国の皆様にご十分なおもてなしが出来ず、大変ご迷惑をお掛けしたことと申します。この場をお借りしてお詫び申し上げます。そして、暖かい友情とご支援、本当にありがとうございました。

ピックアップYEGと連呼したふくい会議から、これからは大きくステップアップするYEGとして全国YEG一丸となり、進んでいきましょう。

全国のYEGの皆様、今後ともご指導の程よろしく申し上げます。



12日 前泊者交流会 19:00~21:00 福井ワシントンホテルにて



福井県産品を思いっきり味わっていただき、明日より開催されるふくい会議に万全の体調で参加していただきたいという願いを込めて企画させていただきました。

鈴木商青連会長のお取り計らいで、日本JC揚原直前会長の突然のご祝辞も頂き、盛大な交流会の幕開け。アトラクションでは越前がこの食べ方講習会や柏会議から始まった我が福井YEGのPRの結集を披露させていただきました。

北海道連、岡山YEGそれぞれの次年度の大会PRも大いに盛り上がり、もちろん 最後はご縁満開一座による演奏により大きな友情の輪ができました。



林大会会長ご挨拶



鈴木会長ご挨拶



日本JC 揚原直前会頭にご祝辞をいただきました



見よ、この体のしなり具合！！



ほおーっ



福井YEG・PR隊最終回 白い虚塔編

ご縁満開一座登場



よーし、PR頑張るぞー！！



やっぱり最後は全員で大合唱

商青連諸会議 8:00~11:30 福井ワシントンホテルにて

正副会長会議	8:00~8:45	各委員会	8:45~9:30
正副会長・次年度正副会長会議	8:45~9:30	次年度役員予定者会議	9:30~10:30
ブロック代表理事会議	8:45~9:30	役員会	10:30~11:30

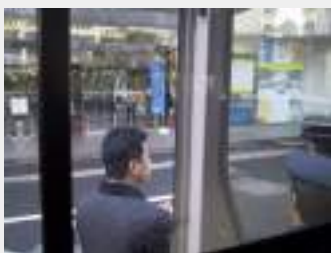


会長研修会

2月13日福井ワシントンホテルにて午前9:30より次年度役員予定者会議が開催されました。冒頭次年度小園会長より御挨拶を頂き、会場内にはいささかの緊張感が漂っておりましたが、まさに小園丸の出港準備万端を感じる会議でした。



登録受付 10:00~12:45 フェニックスプラザ



13日開会式 12:45~14:00

フェニックスプラザにて

商青連オリエンテーション 14:15~15:20

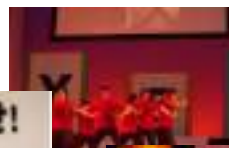


第21回全国会長研修会ふくい会議開会式および
商青連オリエンテーションがフェニックスプラザ大ホールで行われました。

福井YEGの活動内容などを盛り込んだウェルカム映像での開場の後、オープニングアトラクションで福井の魅力、福井のポテンシャル、ふくい会議の期待感を演出。福井の素晴らしい自然・環境を映像「福井の四季」で、福井の文化・芸術をハーブ・大太鼓・バレエ・福井YEGによる踊りで感じていただきました。

そしてメッセージ映像終了後、ステージ後方より清川卓二実行委員長が登場し、熱く、力強いふくい会議オープニングナビゲーション、開会宣言でいよいよ開会式がスタート。

商青連会長 鈴木 悌介、日本商工会議所会頭 山口 信夫様（代読 日本商工会議所 中小企業振興部長 土橋 和則様）による主催挨拶、そして大会会長（福井YEG会長）林 洋三、福井商工会議所会頭 江守 幹男様の歓迎の挨拶がありました。またふくい会議には多数のご来賓の方々にご臨席頂き、経済産業省近畿経済産業局長 宮城 勉様、福井県知事 西川 一誠様、福井市長 酒井 哲夫様からご祝辞を頂戴しました。



次年度開催地PR



現地との二元中継は時間差がありました

蝦夷はなまらえぞー(北海道)
へたるなこっからじゃ(岡山)
と次年度全国大会、全国会長研修
会はガッツあるPRで会場を大い
に沸かせました。



北の国から熱い熱いPR

商青連オリエンテーション

日本商工会議所全国商工会議所青年部連合会 第21回全国
会長研修会ふくい会議開会式および商青連オリエンテーショ
ンが2月13日フェニックスプラザ大ホールで行われました。

福井YEGの活動内容などを盛り込んだウェルカム映像での開
場の後、オープニングアトラクションで福井の魅力、福井のポテ
ンシャル、ふくい会議の期待感を演出。福井の素晴らしい自然・
環境を映像「福井の四季」で、福井の文化・芸術をハーブ・大太
鼓・バレエ・福井YEGによる踊りで感じていただきました。

そしてメッセージ映像終了後、ステージ後方より清川卓二実行委員長が登場し、熱く、力強いふくい会議オープニングナビゲ
ーション、開会宣言でいよいよ開会式がスタート。

商青連会長 鈴木 悌介、日本商工会議所会頭 山口 信夫様（代読 日本商工会議所 中小企業振興部長 土橋 和則様）に
よる主催挨拶、そして大会会長（福井YEG会長）林 洋三、福井商工会議所会頭 江守 幹男様の歓迎の挨拶がありました。
またふくい会議には多数のご来賓の方々にご臨席頂き、経済産業省近畿経済産業局長 宮城 勉様、福井県知事 西川 一誠様、
福井市長 酒井 哲夫様からご祝辞を頂戴しました。





13日 分科会 16:10 ~ 18:20

福井ワシントンホテル
フェニックスプラザ
福井商工会議所ビル

「YEGとビジネスの鍵」分科会 16:10~18:20 福井ワシントンホテル

「YEG とビジネスの鍵」分科会は、「会員同士が連携を強め、ビジネスを活性化させるために YEG 組織・活動はどうあるべきか？」を「参加者全員で導き出すことを目的として開催しました。

この目的を達成するために当分科会では、上記テーマのヒントを与える事例発表者によるプレゼンテーション、そして、参加者全員で議論を深めるテーブルディスカッションの2つのプログラムで進行了ました。



コーディネーター 石川 正一 氏

「YEGとコミュニティの鍵」分科会 16:00~18:20 フェニックスプラザ

「YEG とコミュニティの鍵」分科会は「YEG として、即ち地域のリーダーとして、今後コミュニティビジネスにどう関わっていくべきか。」を参加者全員で導き出すことを目的として開催しました。

この目的を達成するために当分科会では、上記テーマのヒントを与えるパネル・ディスカッション、そして、参加者全員で議論を深めるテーブルディスカッションの2つのプログラムで進行了ました。



コーディネーターの
細内 信孝氏と梶谷 俊介氏



「YEGとまちづくりの鍵」分科会 16:10~18:20 福井商工会議所ビル

「YEG とまちづくりの鍵」分科会は YEG のリーダーに対してまちづくり活動・事業の方針づくりを目的とします。まちづくり事業に必用なコンセプトや具体的手法を学んでいただくモデルケースとして商青連事業である第3回「YEG大賞」応募事業に着目し、全国から寄せられた事例の中から、「まちづくり事業を行う上でのヒント」をピックアップしました。ピックアップした事例をもとに、YEG リーダー同士が「まちづくりに今後どう取り組んでいくべきか」、「まちづくりのビジョンはどうあるべきか」というテーマで議論を深めていきました。



鈴木悌介氏、小園浩幸氏、
そして永井弘明氏

13日 大懇親会 19:30~21:30 フェニックスホテル



2月13日フェニックスプラザにて午後19:30より大懇親会が「よう来たの～福井“響きあう友情の絆”」をテーマに開催されました。

開宴に先立ちまして鈴木商青連会長、林大会長の挨拶を頂いた後、大脇直前会長による乾杯の御発声でいよいよ開宴しました。

米子の全国大会に続いて御当地福井でもカニ三昧で予定者の皆さん並びに本年度出向の皆さんは大喜びで、お酒もかなりすすんでいたようです。宴の中ほどに恒例の次年度全国大会(帯広)、会長研修会(岡山)のPRがありました。もうすぐそこまで来てるんですね。頑張ってください。ステージ上では豪快な和太鼓、よさこいが繰り広げられ、見入る者、踊りだす者それぞれに熱く伝わっておりました。次年度小園会長の中締めを頂き、参加者は福井を惜むように片町に繰り出して行きました。



全国事業三大会を経験した
生きた化石、福井YEG松村君



鏡 割 り



会長研修会岡山会議PR



全国大会帯広大会PR

響きあう友情の絆をテーマに、大太鼓、炎を踊る福井YEG、水をイメージするパレエ、そしてYOSAKOIイッチョライで幕を明けた大懇親会。越前がにやおろしそばそして地酒と県産品を活かした料理を楽しみながら親交を深めていただけたでしょうか。参加型アトラクションとして会場全員でのゲームや踊りはいつまでも語り継がれる事と思います。



明新森組演舞



佐々木小次郎登場



福井産地ハーブの競演

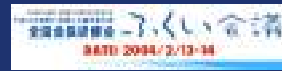


会場全員で総踊り



14日 ピックアップYEG 総括

福井商工会議所 9:30~10:45



ピックアップYEG 総括

～ 3つの鍵 - 宣言 ～

「YEG とビジネスの鍵」、 「YEG とコミュニティの鍵」そして「YEG とまちづくりの鍵」の3分野 - 5会場で開催されました分科会には共通のゴールがありました。それは、この分科会を通じて、全国から集まってくださった YEG のリーダーの皆さんにそれぞれの活動指針への「鍵」を持ち帰っていただくことでした。

それぞれの分科会では、全国 YEG から集められた事例発表、コメンテーターやコーディネーターのお話やパネル・ディスカッションの後、テーブル・ディスカッションという基本的な流れで進められましたが、その中で出された様々な意見を集約しまとめられたのがこの「3つの鍵・宣言」です。我々が特に注意したのは、講師やコメンテーターの意見だけではなく、参加単会の皆様一人一人の意見を忠実にフォローアップし、記録に残す。そして、そのエッセンスを宣言文に集約するということです。すなわち、全国 YEG のリーダーの知恵の結集を図ったわけです。



テーマが「どうあるべきか」「どのように取り組んでいくべきか」「どのようなビジョンを持つべきか」という大局的な、逆に言うと漠とした問いかけだけに、まとめる作業は大変苦勞致しました。当時は分科会終了後、深夜にまで及んだ激論を経て、福井 YEG の実行委員会の皆さんと商青連の「総力を結集した」宣言文になったと自負しています。

研修会二日目の「ピックアップYEG 総括」の中で、宣言文を発表する福井単会の各分科会責任者の松田君、石川君、友田君の自信に満ちた姿に感動を覚えた方も多かったのではないかと思います。

今後は鍵宣言文を皆様方が地域リーダー、YEG 単会のリーダーとして迷われたとき、新たな事業を起こそうと思われたときに、読み返していただければと存じます。

これからも、青年経済人として、地域リーダーとしての旅は続きます。



～鍵を探せ！鍵を選べ！！鍵を握れ！！～
そして鍵を使い、新たな未来に向けて！！！！

「3つの鍵宣言」

<ビジネスの鍵>

- 一、頑張る姿をさらけ出し、もうかる仕組みを共有し、食欲に想いをぶつけ合え。
- 一、YEGネットワークから新しい価値を創造せよ。
- 一、ビジネスは人とのつながり。
活かせ「ご縁満開ビジネスサイト！」
一頑張るアントレプレナーには、風が吹く一



<まちづくりの鍵>

- 一、資源があるかないかではない。「まちづくりは人づくり」
- 一、商売繁盛なくしてまちづくりなし。まちづくりなくして商売繁盛なし
- 一、組織を超えて協働し、集約しようまちづくりの知恵
- 一、地域の特性を活かして取り組もう、テーマ性のあるまちづくり
- 一、ビジネスマインドでまちづくり。掲げていこう新たなビジネスチャンス



<コミュニティの鍵>

- 一、ハートある行動こそ、YEG の原点である。今こそ、コミュニティビジネスの実践に踏み出そう。
- 一、YEG の単会事業こそ、コミュニティビジネスの原点である。地域の問題を解決する単会事業を積極的にコミュニティビジネスに発展させよう。
- 一、YEG は生きた情報の宝庫である。自らの問題意識で YEG ネットワークを活用し、コミュニティビジネスを立ち上げよう。
- 一、YEG は若手経済人の集まりである。地域への思いにビジネスの視点を加え地域を活性化させよう。
- 一、YEG は地域に密着した集団である。一人一人の声を集約し、コミュニティビジネスが根付く社会づくりへの提言をしよう。



各単会の今後の活動指針の参考として
役立てていただければ、この上ない幸せでございます。

平成16年2月14日
日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
会長 鈴木 悌介



喜びに沸く 宮津 YEG 大村利和氏と
美唄 YEG 永桶裕明氏

第1回 YEG ビジネスプランコンテスト 中小企業庁長官賞は 環境問題に取り組んだ 美唄 YEG・永桶裕明さんと 宮津 YEG・大村利和さんの手に！！

YEG ビジネスプランコンテストの表彰及び発表は全国会長研修会ふくい会議の YEG 総括の中で華々しく行われた。副賞として賞金総額 500 万円という破格の賞金を用意した。平成 15 年度商青連の目玉事業の一つであるこのコンテストは YEG として初めての取り組みで、平成 15 年 12 月 25 日(木)に第 1 次審査、平成 16 年 1 月 8 日(木)に第 2 次審査を行った。

グランプリとも言うべき中小企業庁長官賞(副賞 300 万円)は、美唄 YEG・永桶裕明さんと宮津 YEG・大村利和さんの「木質廃材活用による新エネルギービジネスプラン」が獲得した。日本商工会議所会頭賞(副賞 150 万円)はご当地福井 YEG・山岸寛土さんの「サービス業界の接客・技術を抜本的に改善するコールセンター機能付き APS システム販売事業」が獲得した。コミュニティビジネス賞(副賞 50 万円)は足利 YEG・笠原健一さんの「県産小麦の消費拡大を目指した小麦粉加工販売業者のビジネスネットワーク」が獲得した。また、志よし賞として深谷 YEG・松本清さん、YEG ネットワーク賞として平塚 YEG・城所孝さんと帯広 YEG・後藤健市さん、審査員特別賞として福島 YEG・阿部幹郎さん、福井 YEG・林洋三さん、松江 YEG・石橋広光さん、岡山 YEG・山本守さんらが獲得した。

各表彰に続き中小企業庁長官賞、日本商工会議所会頭賞、コミュニティビジネス賞はプレゼンテーションタイムを設けプランを熱く語った。特にグランプリの永桶さんの店頭公開への強い意志が参加者に強い感動を与えた。平成 16 年度も引き続きこの事業を継続することが会員総会で決定している。このコンテストが新規ビジネスや店頭公開企業の登竜門に成長してくれればと強く思う。

- | | | |
|-------------|------------------|-------------------|
| 中小企業庁長官賞 | ・北海道 美唄 YEG 永桶裕明 | ・京都府 宮津 YEG 大村利和 |
| 日本商工会議所会頭賞 | ・福井県 福井 YEG 山岸寛土 | |
| コミュニティビジネス賞 | ・栃木県 足利 YEG 笠原健一 | |
| 志よし賞 | ・埼玉県 深谷 YEG 松本 清 | |
| YEG ネットワーク賞 | ・北海道 帯広 YEG 後藤健市 | ・神奈川県 平塚 YEG 城所 孝 |
| 審査員特別賞 | ・福島県 福島 YEG 阿部幹郎 | ・岡山県 岡山 YEG 山本 守 |
| ロマン賞 | ・島根県 松江 YEG 石橋広光 | ・福井県 福井 YEG 林 洋三 |



日本商工会議所会頭賞は
ご当地福井 YEG・山岸寛土さんに



ドキドキの、発表待ち



コミュニティビジネス賞は
足利 YEG の笠原健一さんに

14日ピックアップ YEG 総括 第3回『YEG大賞』表彰

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
平成15年度第21回商工会議所青年部
全国会長研修会

ふくい会議

DATE: 2004/2/13-14



第3回『YEG大賞』 見事グランプリを射止めた 竹原 YEG 楽市楽座プロジェクト！！

2月14日福井商工会議所にて午前9時より「ピックアップ YEG 総括」の中で第3回YEG大賞の発表及び表彰がありました。応募頂いた素晴らしい79事業より第一、二次選考を通過した15事業の中よりYEG大賞には竹原 YEG「楽市楽座プロジェクト」に栄えあるYEG大賞が鈴木会長より渡されました。YEG大賞の発表に関してはトップシークレットだったため発表の瞬間、竹原 YEGの西原会長は信じられないといった表情でしたが、表彰状を受け取られた後には満面の笑顔でした。竹原 YEGの皆さん、おめでとうございます。



「楽市楽座」プロジェクトは、国と市の補助を受けて幅広い団体と連携し年間を通じた事業を展開した。駅前商店街の空き店舗対策は、地元のフリーペーパーの広告枠を無料で使える特典とセットで店舗を日割りで貸し出した。これまで四カ所に広がり、服飾店や楽器店など延べ約四十の会社・個人の利用があった。（中国新聞地域ニュースより抜粋）



入賞された皆さん、おめでとう！

グランプリ	中国	広島	竹原	楽市楽座プロジェクト
大賞	北海道	北海道	帯広	おびひろ氷まつり
大賞	東北	山形	米沢	第2回上杉鷹山公生誕祭<<杜の楽宴>>
大賞	四国	徳島	鳴門	”鳴門YEG企画番組” ワイワイYEG ～街を語ろう～
大賞	東海	三重	鈴鹿	出会いふれあいフェア 2003「バイクであいたいパレード」
会長特別賞	中国	岡山	岡山	岡山商工会議所青年部 長期ビジョン策定及び実施

YEG大賞・ノミネート

神奈川県	小田原 YEG	堤 英昭	秋田県	横手 YEG	高橋 茂
愛知県	春日井 YEG	池本 曙隆	愛知県	岡崎 YEG	藤井 康正
奈良県	大和高田 YEG	谷本 淳	新潟県	十日町 YEG	重野 順司
埼玉県	蕨 YEG	池上 智康	徳島県	鳴門 YEG	井川 哲
北海道	帯広 YEG	後藤健市	山形県	米沢 YEG	海老名 悟
千葉県	千葉 YEG	岩田 直人	三重県	鈴鹿 YEG	伊藤 晃浩
広島県	竹原 YEG	岡本 達典	福井県	福井 YEG	林 洋三
岡山県	岡山 YEG	井上 和宣			



ノミネートされた単会の代表の方々



14日 第40回 通常会員総会 福井商工会議所ビル



閉 会 式



四人の副実行委員長がそれぞれの
思いのこもった閉会宣言で幕を閉じたふくい会議。
過去を振り返るな、未来を見ろ！
でも未来の時点で過去を振り返り向いた時
自分から自分らしく、
皆の為になっていたかを確認したい。

全国大会開催地連絡会議レポート 日 時：2月14日(土) 13:00~15:00 会 場：福井商工会議所

14日の閉会式をもって第21回全国会長研修会ふくい会議が幕を下ろし、参加者が帰路に向かう中、やる気満々の米子・帯広・豊田の精鋭が一堂に会し、ピーンと張り詰めた雰囲気の中で全国大会開催地連絡会議がスタートしました。

この会議は毎年、会長研修会閉会後に企画委員会のリードのもと開催され、全国大会の開催地にとってとても重要で実り多きものとなっています。目的は、全国大会に関する開催地の直接的な情報交換であり、またそれぞれ部会担当者同士の顔を覚え、その後のメールのやりとりがスムーズに行うことのできるような関係を作ることです。

例年通りの参加者及び委員会の自己紹介、開催経験単会のアドバイス等を済ませたあと、今年は新たに部会別に分かれての担当者同士の情報交換を行いました。

結果、公式な場では聞けないこと、言えないことを含めた内容の濃い意見交換、情報交換の場にすることができ、今後全国大会の開催地となる帯広、豊田両 YEG にとって有意義な会議になった事と思います。

また、小園次年度会長予定者より、地域資源を生かした全国 401 単会・3 万人のための大会を目指して欲しいという締めくくりの挨拶を頂き、必ずや素晴らしい大会にすることを心に誓い精鋭達は福井をあとにして参りました。

15年度役員&委員大集合

燃えました！戦いました！楽しみました！
ありがとうございました！！

浅学非才の会長にお付き合いいただき、
そしてたくさんの励ましを、時にはお叱り
を、しかし、終始一貫暖かくお支えいた
だきました。

全国401単会、3万人の会員の皆様に、
そして身内ごとで恐縮ですが、



平成15年度
第21代 商青連 会長
鈴木 悌介

素晴らしい平成15年度商青連役員の間、

衷心からの感謝を申し上げます。

平成15年度、大阪府連・守口門真YEG、故森田展旦氏の突然の急逝により後任として、昨年7月役員会において承認を受け、商青連執行部に急遽参画することになりました、高石YEG、小園浩幸でございます。

という訳で、本年は企画担当副会長という要職を年度の途中から引き継ぐことになったわけであり、副会長に就任させていただいてからというもの、心も知識も準備不足の中で、商青連の動きに遅れをとってはならぬと懸命に走ってまいりました。振り返ってみますと、時間だけがいたずらに過ぎていき、身体だけが商青連へ出掛けていっていたという感じであり、本当にあっという間の一年でありました。

平成15年度
商青連 副会長
小園 浩幸

全国3万人のお仲間のために何とかお役にたたねばという思いだけをよすがに、本年度、鈴木悌介会長をはじめとする、正副会長、専務理事の皆様あるいは全国のブロック代表理事あるいは理事の皆様そして、日商関係の土橋部長様をはじめとする皆様、特に企画委員の皆様を支えられながら、何とか副会長という重責をまがりなりにも全うできそうとあります。今までとはひときわ異なる、私にとって大きなかつ数多くの出会いは、生涯忘れないことと、私にとって永遠の財産となることを確信いたしております。副会長としての平成15年度、本当にありがとうございました。おかげさまで、皆様から頂戴いたしました数々のご指導とご鞭撻により、新しい年度への思いと飛躍が、何とか、今、見えるものになってまいりました。

意は尽くせませんが、心より御礼を申し上げまして、本年度最後のご挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

「一年を振り返り・・・」

正式な任期は平成15年4月～平成16年3月の1年間ではありますが、鈴木悌介会長が予定者の時にお声をかけて頂いてからは1年9ヶ月となります。長いようですが実感としてはあっという間に終えるような感覚です。この間、一言で感想を申し上げますと本当にお陰さまで「幸せ」な「楽しい」商青連活動をさせていただきました。沢山のかけがえのないご縁に恵まれ、皆さまにご支援頂き、また多くの事を学ばせて頂きました。

私は鈴木会長にお供させて頂く度に深まる鈴木会長の商青連に対する熱い熱い情熱を深く感じ、粉骨砕身、無私の努力とリーダーシップによる勇氣あるお姿に心より感動し敬意を表しております。鈴木会長に身を持って教えて頂いた、「自分から自分らしく皆のために」「覚悟と潔さ」を私自信の心にしっかり刻んでこれからの人生を進んでいきたいと決意しております。

浅井委員長はじめ研修委員会の「つわものども」の皆さん、本当に大変楽しく事業を進めさせて頂きました。この確かな「絆」はこれからが本物の財産になりますね。

言葉では言い尽くせないほど商青連役員、全国各地の皆さま、そして大変お世話になった日商事務局の皆さまにひたすら感謝を申し上げます。

ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

平成15年度
商青連副会長
齋藤 明彦





15 年度役員 & 委員大集合

燃えました！戦いました！楽しみました！

ありがとうございました!!

1年を終えて

平成 15 年度鈴木会長の下、熱意有る皆様方とともに活動させていただいたこの 1 年は、私の人生にとって、これまで以上に多くの教えと感動をいただいた 1 年でございました。

副会長として担当させていただいたコミュニティビジネス委員会、ビジネスネットワーク委員会の両事業は、これまでの商青連活動の歴史を踏まえたなかで、改めて私たちが YEG としての自らの責務を問いなおした結果の事業であり、まさに責任と期待と不安の錯綜する日々の連続ではありましたが、梶谷、高橋両委員長の素晴らしいリーダーシップの下、理事、専門委員各位の情熱と行動力に支えられ、今年度の目標を達成させていただくことができました。この 1 年、両委員会事業に対しご理解ご支援をいただきました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。
合掌



平成 15 年度
商青連 副会長
竹川 博子

15 年度を振り返って。

平成 13 年度から出向して 3 年。その 3 年目も終わりとなりました。この一年本当に「あっ」という間に過ぎてしまった感じです。平成 14 年の秋口から 15 年度へ向けての準備が始まり、15 年度が始まった時にはすでに半年が済んだような気がしました。

春の会長会議、ブロック大会、全国大会、そして会長研修会。その中で一番の思い出は、前韓国大統領金大中閣下との対談でした。対談が実現した喜びと、商青連正副専務のチームワークの良さと、行動力に改めて感心しました。

委員会活動では優秀な委員長と委員恵まれ、ブロックでは心やさしく責任感の強い代表理事に助けていただき、鬼と言われながらもこの一年多くの方とご縁を頂き、多くのことを学ばさせていただきました。書き尽くせない気持ちで一杯です。

商青連の皆様、倉吉 YEG の皆様への感謝。応援していただいた皆様への感謝。そして何より家族への感謝。一年間本当に有難う御座いました。



平成 15 年度
商青連 副会長
清水 雅文

1 年間を振り返って

鈴木会長の強いリーダーシップの下、自称「かまぼこの板」として 1 年間専務理事を務めさせて頂きました。前年度の秋口から始まった助走期間を含めた約 1 年と半年。YEG 現役の最後の年度に、自分の人生の中で最も充実した記憶を刻ませていただきました。

「自分から自分らしく皆の為に・・・」全国 401 単会、3 万人のメンバーのお役に立つ商青連活動ができたかどうか。専務理事という立場で、やり残し、未達成の悔いも残らぬ感はないわけではありませんが、自分なりに精一杯やらせていただきました。

これも、ひとえに熱いヤングハートを持った、責任感・使命感に燃えた約 120 名の商青連役員関係者・専門委員・事務局の皆さまと一緒に「無茶はいかんが多少の無理を！」を合言葉に全力疾走で全国をそして 1 年間を走っていただいたおかげです。熱い 15 年度の仲間とすべての全国の YEG 関係者に感謝します。ありがとうございました。



平成 15 年度
専務理事
関 学

総務委員会



担当専務理事	関 学	柏 YEG
委員長	妹尾 隆哉	鹿児島 YEG
副委員長	津村 弘毅	大川 YEG
委員	嶋口 裕康	五所川原 YEG
	阿部 博志	千葉 YEG
	山田 信博	三島 YEG
	櫻井 文晶	広島 YEG
	高橋 幹雄	佐賀関 YEG

<楽しかったこと> YEG 大賞、IT関係の勉強ができてよかった。

<苦しかったこと> 会議が多過ぎた。

企画委員会



担当副会長	小園 浩幸	高石 YEG
委員長	後藤 健市	帯広 YEG
副委員長	森岡 厚	東海 YEG
	室賀 康史	岡山 YEG
委員	福地 雅人	福島 YEG
	吉田 守伸	小松 YEG
	吉岡 正修	福井 YEG
	荒濱 健太郎	米子 YEG
	藤田 典生	観音寺 YEG
	谷脇 和幸	須崎 YEG

<楽しかったこと> 全国をまわって、旨い酒が飲めたことと友だちができた。

<苦しかったこと> 会議のリハーサルで1年が終わってしまったこと

研修委員会



担当副会長	齋藤 明彦	米沢 YEG
委員長	浅井 秀明	浜松 YEG
副委員長	坂井 政行	気仙沼 YEG
	山中 仁	相模原 YEG
委員	川田 弘教	登別 YEG
	細井 道栄	春日部 YEG
	亀山 健壽	関 YEG
	村上 幸司	今治 YEG

<楽しかったこと> 幾つかの事業で成果として残すことができたこと。

<苦しかったこと> 予定した研修が戦争やSARSでできなかったこと

広報委員会



担当副会長	清水 雅文	倉 吉 YEG
委員長	丸山 信仁	御 坊 YEG
副委員長	小鯖 利弘	釜 石 YEG
	山田 英樹	大 津 YEG
委員	山本 朝孝	大和高田 YEG
	清水 俊智	勝 田 YEG
	東郷 隆浩	大田原 YEG
	菊池 健次	鳴 門 YEG
	川井 真太郎	伊万里 YEG

- <楽しかったこと> こんなにも個性の強いメンバーと一緒に活動をしたこと。
- <苦しかったこと> パソコンをほとんど使ったことがなかったのので、覚えるのに苦労しました。
清水 俊智

コミュニティービジネス委員会



担当副会長	竹川 博子	松阪 YEG
委員長	梶谷 俊介	岡山 YEG
副委員長	小園 浩幸	高石 YEG
	津崎 幸三	松浦 YEG
委員	松田 善信	山形 YEG
	花石 真一	中野 YEG
	勝山 茂樹	宇治 YEG
	高木 洋一	荒尾 YEG

- <楽しかったこと> 各ブロック大会へ参加できたこと。普通は行けない所へ行くことができた。
- <苦しかったこと> 当初、委員会活動の内容を把握するまでがなかった。

ビジネスネットワーク委員会



担当副会長	竹川 博子	松阪 YEG
委員長	高橋 茂	横手 YEG
副委員長	保坂 裕一	加茂 YEG
	平田 一彌	高岡 YEG
運営幹事	佐藤 俊行	秋田 YEG
書記	犬塚 勉	益田 YEG
委員	茂木 直久	館林 YEG
	佐井川 義晃	田辺 YEG
	名嘉 義明	那覇 YEG



中国ブロック
代表理事
冨永 洋一

中国ブロック代表理事として、一年間お世話になりました。お陰様でこの一年間、全国各地にお邪魔させて頂き、多くの YEG の方々と語り合うことができました。この経験は 私にとって非常に有意義なものであり、これからの社会活動に多いに役立ててまいります。

私の YEG 活動も残すところ後一年となりました。残りの一年間、単会のメンバーとして地域振興の為に頑張ります！

鈴木会長はじめ商青連役員の皆様、各単会の皆様、事務局の皆様、またどこかでお会いしましょう。

本当にありがとうございました。



九州ブロック
代表理事
岩切 正司

この一年間商青連役員の皆様方、また日本商工会議所職員の皆様方には大変お世話になりました。私はこの2年間の商青連出向の中で、数多くの価値ある経験をさせていただきました。さまざまな人との出会い、友情を深めることによって自分自身を改めて見つめ直すことができたことに心から感謝申し上げます。この YEG 活動においての各地のメンバーとの出会いは、私の一生の財産となりました。

今、九州ブロックはさらに一つになって絆を深めようとしています。かねてからの懸案事項でありました、協議会から連合会への移行が今年度ついに実現いたしました。現在会員一人一人が主役になり、お互いに意見を出し合い、検討、協議し、その結果を各単会に反映させることによって自分の事業、商売に積極的に取り入れようとしています。

まだまだ連合会として立ち上がったばかりでこれから先、勉強、工夫、改善等していかなければならないことも数多くあるかと思いますが「前進していこう」という熱き思いは次年度に向けてしっかりと受け継がれました。私自身もこれから先一年一年がさらに研鑽と挑戦の時です、この商青連活動を通じて得たものをしっかりと自分の糧とし「一期一会」の感謝と共に日々行動していかなければならないと考えています。

最後に16年度小園会長をはじめ役員の皆様方の一層のご活躍とご奮闘を心からお祈り申し上げます。



四国ブロック
代表理事
芝野 光

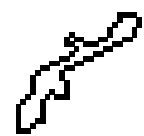
全国の YEG の皆さん、本当にお世話になりました。それなりの準備や心構えはしていたつもりでしたが結構ハードな1年でありました。特に四国ブロック大会の PR の為の巡礼の旅？は一生の思い出となりそうです。

我々は商工会議所活動の一翼を担っている訳なのですが、YEG 活動が多方面にわり好影響を与えることが最近になってやっと感じるようになりました。

さらに嬉しいことに、私共の単会の若いメンバーも何となく判ってきたようです。それはブロック大会や県連事業を行う事は手段であり、我々の目的は人づくりや街づくりにあることを示す事が出来たからであると考えます。

まさに商工会議所青年部を再認識させられた1年でもありました。これからも人と地域を意識した活動を続けたいと考えます。

YEG 万歳！



一年を振り返って



北陸信越ブロック
代表理事
島 隆幸

商青連の執行役員としてのブロック代表理事と言う重責と北陸信越ブロック会長としての重責に緊張し、務まるか最初は不安と期待で始まった感がありました。多くの人に助けられながら、なんとかゴールできる事に感謝と安堵の気持ちでいっぱいです。本当に素晴らしいご縁の数々、ありがとうございました。

楽しかった思い出が多い中、悲しく残念だった事がひとつだけあり、それは森田さんのことで、小田原での最後のあの笑顔が記憶に鮮明に今も思い出します。

一番大変だったのは、やはりブロック大会で7月ごろから9月18日19日の本番まで日々高まるプレッシャーは、人生でそう経験できないことだと感じています。

今後は多く出会いを活かし、刺激受けたことを実践に移し、商売にがんばります。

鈴木会長はじめ平成15年度役員の皆様、北陸信越ブロックすべてのYEGメンバーお世話になりました。



近畿ブロック
代表理事
木下 一成

近畿ブロック大会加古川大会の開催にあたり、多くの方々のご支援をいただき、また、当日には本当に大勢のYEGの皆さんにご参加いただいたこと、本当に有り難うございました。感謝に堪えません。

さて、私自身は商青連への出向は今年も含め数年に及ぶのですが、本年度、ブロック代表理事を務めさせていただき、思いを新たにすることがあります。

それは、ブロック代表理事は、言葉は悪いですが…単なる中間管理職ではないということ。

商青連でも、会長をはじめ副会長、各委員長等の皆さんは、いわば全国区で選ばれている方々です。もちろん、その重要性は十二分に承知しておりますし、ご苦労の程も間近で拝見させていただき、本当に頭が下がる思いです。

ただ、その選任プロセスにおいてブロック代表理事というのは、それぞれの所属する地域で人選されていく特殊な役職です。文字通り、ブロックそして各地域を代表して商青連役員という職に就かせていただいている。今年度、地域の皆さんとお話をする中で、その任の重さを改めて思い知りました。

このことは、今後、各地のブロック代表理事に就く方々にも認識していただきたい。もちろん全国を束ねる商青連の役員ではあるのですが、地元・地域が貴方を支えていることを。それが、ひいては商青連という組織を力強いものにする一つの柱だと思うのです。

最後になりましたが、商青連そして全国の各単会、ご所属のメンバー各位の今後ますますの繁栄を祈念して締めのご挨拶とさせていただきます。

1年間本当にありがとうございました。

商青連役員の皆様をはじめ全国の青年部の皆様方には、この1年間大変お世話になりました。

この1年を振り返りますと、スローガに掲げた“東海から・東海らしく・つなげよう「熱き地域のネットワーク」”のもと、ブロックメンバー間の積極的な交流事業を行うなど、コミュニケーションの充実を図ってまいりました。

そして、秋には東海ブロック大会松阪大会を開催することができ、ひとえに皆様方のご協力の賜物と感謝いたしております。ありがとうございました。

また、2005年には全国大会愛知大会の開催を控えておりますので、今後とも東海ブロックをよろしくお願い致します。



東海ブロック
代表理事
伊藤 素近

一年を振り返って



北海道ブロック
代表理事
江戸 雅夫

15年度北海道ブロック代表理事として北海道商工会議所青年部連合会 1012名の会員の方々はもとより商青連の役員の方々から何かと御協力、御支援をいただき心より感謝いたします。

また、商青連正副会長、専務理事、そして各委員会委員長、委員の皆様におかれましては1年間責務とはいえ、その活動ぶりを頭の下がる思いで拝見しております。

私はこの1年間経験させていただいた様々の事を生かし公私にわたり、ひとまわり大きい人間になれるよう気持ちを引き締めて活動していこうと思っています。

私にとってのこの1年は充実したものでした。改めましてお世話になりました。15年度役員の皆様が夫々の地域で御活躍されますことをご期待申し上げます。皆様お元気で！

東北ブロックにおいては、9月に開催した東北ブロック大会気仙沼大会をはじめ、各単会・地域を結んだ4つの連携軸事業もすべて成功裡に開催することが出来ました。

全事業とも業務に携わったメンバーの努力の賜物であることは言うまでもありません。

また、ご協力を頂きました皆さま方へ感謝するとともに改めて御礼を申し上げます。

1年間お世話になりありがとうございました。



東北ブロック
代表理事
坪井 大雄

平成13年春の第一回関東ブロック総会（沼津）から実質自分のプロ代としての仕事が始まりました。そして秋のブロック大会（沼津）から本格スタート、今から思うと今日までの一年九ヶ月は、長いようで短いような歳月でした。

年明けからはじまった県連内単会のキャラバン、四月からのブロック内キャラバン、思い起こすといろいろな地を訪れることができた貴重な体験でした。そして早くも春の総会、嵐のなかでしたが、思い出深い総会ができました。お越しになった商青連・各地会長・メンバーには大変感謝申し上げたいと思います。

それから三ヶ月、いよいよ本番のブロック大会、1,100名のメンバーには我が館林にお越しいただき、ゴルフ大会・ボーリング大会・第二回総会・前泊者懇親会・萩原健司氏の基調講演をはじめ分科会（六分科会）・記念式典・中曽根康弘元内閣総理大臣の記念講演・最後に大懇親会とハードな二日間の日程にもお付き合いをいただき館林のメンバー全員心から感謝いたしております。

そして全国のブロック大会巡り、全国のYEGメンバーの熱気が感じられるひと時でした。

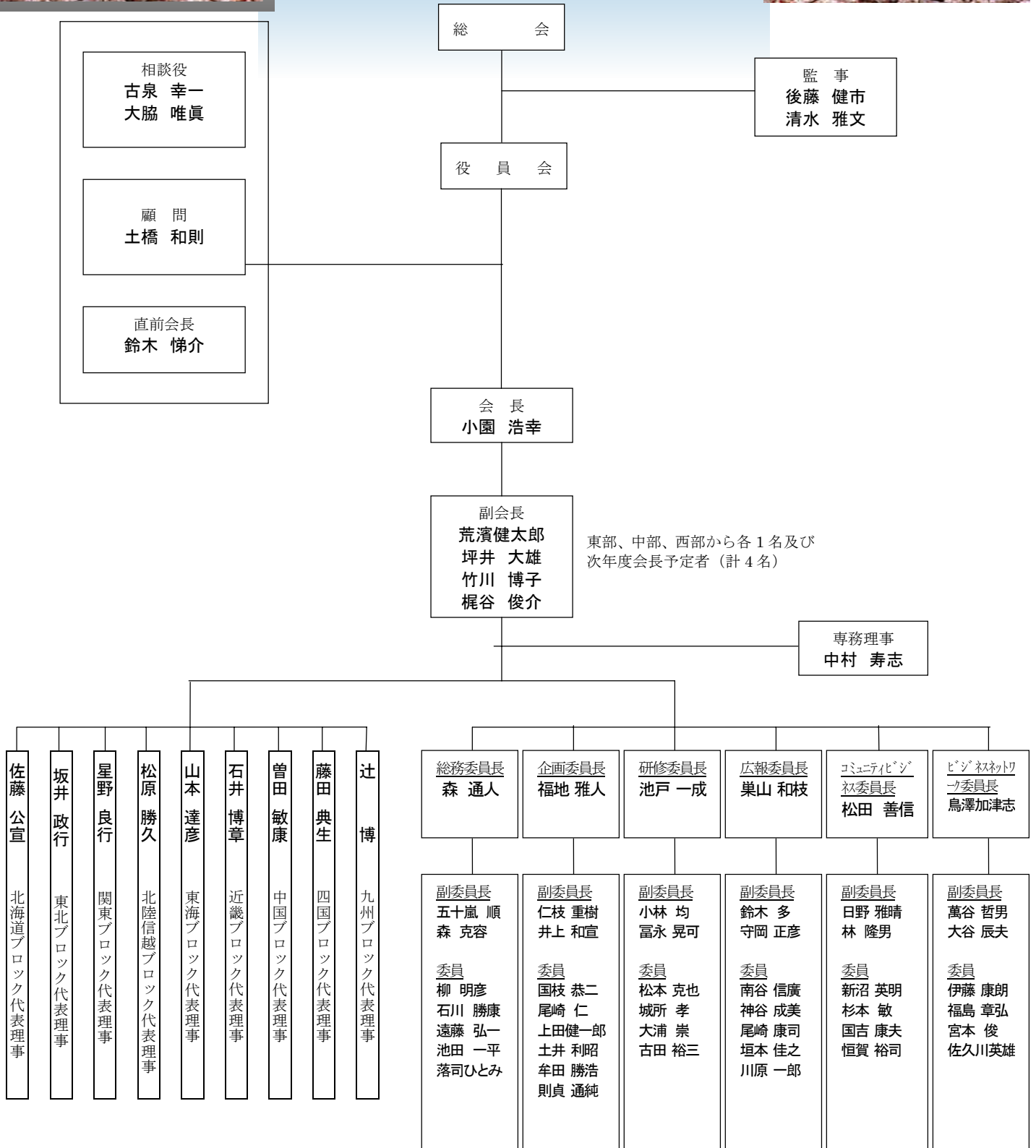
米子の全国大会・福井の全国会長研修会設営ご苦労様でした。今まで述べましたが、この一年間の体験は何事にも勝る素晴らしいものとなりました。最後に正副会長をはじめ商青連の皆さん・事務局の皆さん・関東ブロックをはじめ全国のYEGメンバーには心より感謝申し上げ、報告とさせていただきます。「ありがとうございました。」



関東ブロック
代表理事
小暮 達也

平成16年度 商青連組織図

新役員・新委員会 新ブロック代表理事



平成 16 年度 全国商工会議所 青年部連合会役員

平成 16 年度、商青連会長（予定者）を仰せつかっております、大阪府連、高石 Y E G の小園浩幸でございます。昨年 7 月に副会長としてご承認を受けてから、時間も知識もないままに、平成 15 年度鈴木会長をはじめとする商青連役員はじめ、大阪府連からのバックアップを受けながら、そして何よりも全国の会員の皆様からのご支援のおかげさまで、何とか平成 16 年度への準備が整いました。本当にありがとうございます。

全国各地の単会の皆様に、私の思いの内、どれだけのことを理解して頂き、どれだけ訴えることが出来るか、この一年の私の大きな宿題であります。私の思い、「美しい日本の創造」に向かって、「優しさ」、「思いやり」そして「情熱」をどれだけ実践できるか、Y E G の皆様にどれだけ理解していただけるか、精一杯、頑張ってみりたいと存じます。全国各地の Y E G 単会並びに会員諸兄には、共に実を結ぶ青年部であり、共に花を咲かせてまいりたいと思っております。

商青連という組織は、皆様の身近なところがございます。委員会委員も皆様から公募対象を増やしました。全国各地単会の皆様により近づいて、会員の皆様のお役に立てる商青連を目指してまいります。どうか、単会のために、そして、ご自分のご商売のために、商青連を是非ご活用いただきけますようお願い申し上げます。



平成 16 年度
第 22 代 商青連会長
小園 浩幸

昨年は、第 23 回全国大会・米子大会、大変お世話になりました。

全国の Y E G メンバーの熱い想いに感謝申し上げます。

今年度は、企画委員会担当副会長としてお世話になりますが、昨年度、企画委員として、9 ブロックを周らせて頂き、多くの出会い、貴重な体験を頂きました、今年度開催される各ブロック・各地域の為に少しでも何か、お伝え出来ればと思っています。今年度も「出会い・ふれあい・語り合い」をテーマに次の気持ちで頑張ります。

人に何かをしてもらったときより

人になにかをしてあげて感謝されたときのほうが嬉しい

それが誰かのためになるのなら、

もう少し頑張ってみようと、力も湧いてくる。

本当の喜びは、「与える」ことから生まれる

人のために尽くすこと、人の役に立つこと

それは、あなたの人生を豊にしてくれる。

生年月日 昭和 39 年 11 月 16 日 / 血液型 O 型

米子 Y E G 所属 出向理事 /

Eメール arahamak@chukai.ne.jp



平成 16 年度副会長
荒濱 健太郎

【16 年度への思い入れ】

小園浩幸会長予定者のもと東地区担当副会長を務めます。15 年度鈴木悌介会長の事業活動の流れを継承しつつ、15 年度東北ブロック代表理事として皆様方からご指導頂いた経験を活かして、その職責を全うしたいと思います。また、研修委員会を担当しますので、充実した研修会を開催し参加頂くことにより、会員の資質向上を図るとともに、今まで以上に青年部間の連携を取って行きたいと考えております。15 年度から実施したビジネスプランコンテストも継続し、内容を充実して実施してまいります。1 年間の研修を通して、青年部メンバーの相互の意思疎通を深めていくよう推進してまいりますので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

生年月日 1959 年 9 月 26 日 / 血液型 A 型

所属 Y E G 福島 Y E G / Eメール tsubo@juno.ocn.ne.jp



平成 16 年度副会長
坪井 大雄

平成 16 年度 全国商工会議所 青年部連合会役員



平成 16 年度副会長
竹川 博子

不連続の連続の組織の中での連続の連続、体力と知力と精神力をいかに養い持続させるか、現在の私にとってそれが第一の課題です。引き続きビジネスネットワーク委員会を担当させていただくことになりましたが、商青連を窓口とするネットワークによるビジネスチャンスの中継的役割をいかに果たすか、「ご縁満開 YEG ビジネスサイト」を如何に価値あるものにするか、目的をしっかりと踏まえ、商青連の I T 化に向けて微力ながら寄与して参りたいと思います。

生年月日:1958 年 9 月 27 日 / 血液型:A型、性別:(不肖)
座右の銘「人生いたるところに青山あり」



平成 16 年度副会長
梶谷 俊介

西地区並びに広報委員会とコミュニティビジネス委員会担当の副会長として岡山 Y E G より出向いたします。

小園会長のもと、「美しい日本の創造！思いやり、情熱の心で結ぶ Y E G」を旗印に、全国の皆様と共に素晴らしい Y E G 活動を展開してまいりたいと思いません。そのために、単会の皆様と商青連の距離を縮めることが大きな課題です。ブロック代表理事、出向理事、委員会の皆様と共に、ネットワークの要は我々であるとの思いで単会の皆様と情報交換をしながら、単会にとって価値ある商青連とは何か考えて、活動に反映してまいります。一年間、よろしくお願ひいたします。

-----平成 16 年度を迎えるにあたって-----



平成 16 年度専務理事
中村 寿志

「美しい日本の創造！思いやり、情熱の心で結ぶ Y E G」の旗印のもと平成 16 年度小園丸がいよいよ出航します。平成 17 年 3 月に無事帰港できますようどうぞお力添えいただきたくよろしく御願ひ申し上げます。また道中できるだけ各地単会・県連・ブロックへと寄航させていただき皆様のお役にたつ（1. 皆様へのより多くのビジネスチャンスの提供 2. 組織としての影響力の発揮・3. 各地 Y E G 活動の紹介）情報をご提供させていただくと同時に皆様と積極的に交流をさせていただきます。平成 15 年度のすばらしい芽を平成 16 年度は花を咲かせる年だと思います。「3 万人のためになる商青連」を目指して一步一步丁寧に着実に階段を上っていきます。今年 1 年間 よろしくご声援ください。

生年月日:昭和35年10月7日 / 血液型:AB型
所属単会:長浜 Y E G / Eメール:meibun02@mx.biwa.ne.jp

新委員会

総務委員会



総務委員会では、会長のスローガン「思いやり、情熱の心で結ぶ YEG」の趣旨に基づき、各ブロック・各県連の皆様のご協力を得て、全国 398 単会の皆様とのコミュニケーションと意思疎通を密にし、全国の青年部のノウハウ・知恵を共有出来る情報収集と流通の仕組み作りを行い、各地 YEG のより強い連携の推進に向けて活動します。

全国より、選りすぐられた総務委員会の精鋭メンバーの活躍に応援とご協力をお願い致します。

担当専務理事	中村 寿志		
委員長	森 通人		
副委員長	五十嵐 順	森 克容	
委員	柳 明彦	石川 勝康	遠藤 弘一
	池田 一平	落司ひとみ	

企画委員会



企画委員会は元気でパワフルなメンバーばかりです。その力を思う存分発揮し、失敗を恐れず新しい事にも果敢に挑戦します。

思いやりと情熱の心で一致団結して商青連主催の全国大会帯広大会、全国会長研修会岡山会議、共催事業である各地ブロック大会が成功するように、主管地のメンバーと共に力を合せ、参加していただいたメンバーにとって勉強となり、交流と親睦がはかられ有意義だったと思われるような大会となることを目指し頑張ります。

担当副会長	荒濱健太郎		
委員長	福地 雅人		
副委員長	仁枝 重樹	井上 和宣	
委員	国枝 恭二	尾崎 仁	
	上田健一郎	土井 利昭	

研修委員会



研修委員会は、今本当に必要で求められる研修事業を、委員会メンバー一同で模索し、ご提供いたします。研修委員会の事業一つ一つが、「美しい日本」を創るため、それを支えるべく高い志をもった YEG 会員のお役に立てるよう、委員会メンバー一同は熱い思いを込めて企画・運営いたします。すでに活発に動き出しており、頼もしいメンバーが揃っている研修委員会に、どうぞご期待ください！

担当副会長	坪井 大雄		
委員長	池戸 一成		
副委員長	小林 均	富永 晃可	
委員	松本 克也	城所 孝	
	古田 裕三	大浦 崇	

新委員会

広報委員会



広報委員会では全国の会員の事業が発展し、単会、県連、ブロックの活動が更に活発化するように、3万人が持っている情報を収集、発信します。情報という1つ1つの点を思いやりと情熱の心で結ぶことによって、YEGというネットワークを作ります。それは新しいビジネスチャンスを生み、地域経済や文化の発展にも寄与するでしょう。広報委員会は更に進化できるよう、熱く高い志を持って力を合わせ頑張ります。ご協力お願い致します。

担当副会長	梶谷 俊介		
委員長	巢山 和枝		
副委員長	鈴木 多	守岡 正彦	
委員	南谷 信廣	神谷 成美	尾崎 康司
	垣本 佳之	川原 一郎	

コミュニティビジネス委員会



いよいよ3年目を迎えるコミュニティビジネス委員会です。今年度も引き続き全国各単会へ向けての更なる啓蒙活動及び全国の様々な事例を伝えて行きたいと思えます。

委員会はもちろん全国YEGメンバーとともに、地域を愛し、地域を元気にしていきたいと考えております。今年度もコミュニティビジネス委員会をよろしくお願いたします。

担当副会長	梶谷 俊介		
委員長	松田 善信		
副委員長	日野 雅晴	林 隆男	
委員	新沼 英明	杉本 敏	
	国吉 康夫	垣賀 裕司	

ビジネスネットワーク委員会



ビジネスネットワーク委員会では、全国3万人のYEGメンバーに安心なビジネスの場を提供していきたいと思えます。デジタル的出会いの場として『ご縁満開YEGビジネスサイト』、アナログ的な出会いの場として『ご縁満開ビジネス交流会』(東京・大阪開催予定)を通し活発なビジネス交流を目指します。また、全国各地のメンバーのビジネス状況を会員に発信いたしますので情報提供をお願いします。一年間よろしくお願い致します。

担当副会長	竹川 博子		
委員長	鳥澤加津志		
副委員長	萬谷 哲男	大谷 辰夫	
委員	伊藤 康朗	福島 章弘	
	宮本 俊	佐久川英雄	

新ブロック 代表理事



北海道ブロック代表理事
佐藤 公宣

平成 16 年度北海道ブロック代表理事を任命されました。登別 Y E G から出向させていただきます佐藤公宣です。今年度北海道では、帯広の全国大会を控え全国の皆様との縁をつなぐ役割と心得多くの仲間と友情をはくぐみながら活動をしていきたいと思ひます。

北海道が国の政策として開拓されてからかく全国から入植しまだ百年あまりの歴史と代々自然と協調しながら歴史ある人たちと生きついできました。北海道としてこれからお互いの力をあわせて新しい文化の創造を行い自然と人との協調を行いながら、世界の中の北海道を位置付けていけるような活動をするために全国の各地の仲間から多くを学んで行きたいと思ひます。「明日は、明日の風が吹く」青年らしいそして先人たちが、この地に注いだ精神を思い起こしながら、商青連執行部皆様と一年間行動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



東北ブロック代表理事
坂井 政行

地域再生へ舵をとれ!!

『依存じゃなく自立、孤立しないで連携』

今日、私たちは国や行政に依存することが出来ない世の中に生きています。企業として、商店街として、地域として自立することが求められている時代です。そしてこんなときこそ Y E G の出番だと思ひます。企業でも、商店街でも、地域でも孤立しては何も出来ません。今こそ、私たち Y E G が核となり、知恵を出し合い、連携の輪を広げて行きましよう。この広大な東北ブロックの津々浦々からたくさんの地域再生の船が出ますことを心から願ひしております。



関東ブロック代表理事
星野 良行

関東ブロックは 81 単会、会員数 5700 名を超える最大のブロックです。本年度は「まごころ関東一縁」をスローガンに、いろいろな [en] を感じてもらえる関東ブロック上尾大会を開催させていただきます。この立場にいられることに感謝し、一期一会を大切に、皆様に恩返しできるよう努力する所存です。



北陸信越ブロック代表理事
松原 勝久

本年度、当会は地域経済向上の為に会員事業所の発展土俵を依り多く提供する事に重点を置いて “共に改新、コラボレーション、リノベーション” をスローガンに活動して行きたいと考えています。次代の経営開拓は今までと違う視点からの諸方法やストラテジーを練らねばステージアップの期は訪れないでしょう。今の我々に一番近道のビジネスチャンスキーワードそれは異業種、同業種の壁を越え、多くの Y E G メンバーが交流し依り深く結び付く事からだと信じています。

ブロック氷見大会でも以上の要点に的を当て、若手経済人が効果的に結束し新たなビジネス市場を個々に開発して貰う事を大きな目標に掲げます。勿論経営者としての資質向上研修もプログラムに織り込みながら当然、観光都市氷見の素晴らしさも心身共に堪能していただけるものと思ひますので、是非とも皆様方のご理解ご協力を賜り、重ねて商青連北陸信越ブロック氷見大会のご参加を心より願ひ申し上げます。

新ブロック代表理事



東海ブロック代表理事
山本 達彦

“個人が輝き組織が沸き立つ”そんな YEG を目指します
平成 16 年度東海ブロック代表理事の山本です。1 年間宜しく願いいたします。東海ブロックは愛知岐阜三重の 3 県連、35 単会から成るコンパクトなブロックですが高水準なインフラと多様性に満ちた地理的環境に恵まれ、セントラルジャパンという気概を持っています。今年は 9 ブロックのトップを切って 7 月 23,24 日に愛知県東海市で東海ブロック大会を開催します。More Pleasing Town “みせませ東海の心粋”をテーマに大人気ない暑さにあなたをいざないます。そして皆さん、それから 1 年後にはもう「第 25 回全国大会愛知大会」なんですよ！
“YEG が織りなす情熱の東海”是非熱き東海にご注目ください。
Don't Miss It !!



近畿ブロック代表理事
石井 博章

ブロック連合会の役割として、ブロック大会の企画と実施、ブロック内府県連の調整役の2つに重点をおきたいと考えます。また、単年度ということを目指しての判断基準を行い、活動に徹していきたくと思っています。当ブロック内は全国的にみても最も景気の悪い地域のひとつです。そういうなかで、YEG 活動をするには、できるだけ効率的な運営を心掛け、会員の皆様、せつかくの貴重な時間を費やすのに見合う成果を持って帰ってもらうよう努めます。私自身、ブロック内の皆様との交流や親睦を通して、皆様方より経営手法、感覚、感性を学び、そこから商売のヒントを得、明日へのステップに大いに役立てることに、期待しています。

座右の銘 率先垂範



中国ブロック代表理事
曾田 敏康

平成16年度中国地区ブロック代表理事を拝命する事になり本当に緊張をしているところです。昨年の第 1 回予定者会議から、たくさんの会員の皆様と交流を深めることが出来たことを本当に嬉しく思っています。

そして何よりも商青連の執行部役員の皆様の YEG に懸ける思い、情熱には本当に感銘を受けました。小園16年度会長のスローガンあります、思いやり、情熱の心で結ぶ YEG を私の心に刻み、商青連の活動をブロック内の会員の皆様に伝え、会員の皆様の活動、あるいは、ビジネスチャンスに支援をできるように活動していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



四国ブロック代表理事
藤田 典生

四国ブロックの皆様、平成16年度四国ブロック代表理事を務めさせていただきます、香川県観音寺 YEG の藤田といいます。どうぞ1年間宜しく願いいたします。

四国ブロック観音寺大会は、大会スローガン「**がいげにかんきゃ 若い衆**」を掲げ、大会コンセプト「よく学び、よく遊び、そして元気になろう」を基本に現在企画に検討を重ね、皆様に本当に満足していただける大会にしようとする実行委員会スタッフ一同日夜励んでおります。四国ブロック観音寺大会の素晴らしいのひとは「工夫すればどんなことでも何とかなる」という無謀な考えの下素晴らしい企画が続々と誕生しておりますので、ぜひ四国ブロック観音寺大会にご参加下さいませよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



九州ブロック代表理事
辻 博

今、世の中は北朝鮮の拉致問題・イラクの復興支援問題・米国の BSE 問題・鶏インフルエンザ問題等々、国内外を問わず大問題が山積みとなっております。経済面においても、一部では好転の兆しが見え始めたと言われておりますが、特に我々のような地方においては、依然として厳しい状況が続いている、というのが現実です。

今こそ、我々 YEG は全国 3 万人の連携を再確認するとともにその土台強化を図り、この閉塞感を打破する起爆剤となることが求められているのではないのでしょうか。

九州ブロックは昨年度、連絡協議会から連合会へと“脱皮”致しました。発足 2 年目を迎える 16 年度は非常に重要な年であると認識しています。これを機に、九州ブロックの意識の向上、結束を今まで以上に図り、そして全国の皆様と共に、地域から日本経済を覚醒させる為、粉骨砕身、努めていく所存です。

これから一年間、どうぞ宜しくお願い致します。



次にお会いできる日を
楽しみにしています！！



お疲れさまでした



本当にありがとうございました



楽しかった





12月号

自分自身の成長こそブロック大会の意義 商青連 東海ブロック代表理事 **伊藤 素近**
 ビジネスチャンスを生かすかは自分次第 商青連 近畿ブロック代表理事 **木下 一成**

単会紹介

福井商工会議所青年部 宇治商工会議所青年部 高石商工会議所青年部
 北大阪商工会議所青年部 大和高田商工会議所青年部

対談・後編

鳥取県知事 **片山 善博 氏** ×
 全国商工会議所 青年部連合会 会長 **鈴木 悌介**



2004年1月号

元気を発信しよう 商青連 中国ブロック代表理事 **富永 洋一**
 YEGの在り方の検討を 商青連 四国ブロック代表理事 **芝野 光**

単会紹介

田辺商工会議所青年部 米子商工会議所青年部 益田商工会議所青年部
 広島商工会議所青年部 観音寺商工会議所青年部



2月号

新生九州 YEG 今こそ結束の刻 商青連 九州ブロック代表理事 **岩切 正司**
 「本格的なIT化」への挑戦 商青連 専務理事 **関 学**

単会紹介

今治商工会議所青年部 須崎商工会議所青年部 大川商工会議所青年部
 伊万里商工会議所青年部 松浦商工会議所青年部



3月号

夢の実現をゆめみて 商青連 監事 **永桶 裕明**
 循環型社会の構築へ 商青連 監事 **大村 利和**

単会紹介

美唄商工会議所青年部 官津商工会議所青年部 荒尾商工会議所青年部
 佐賀関商工会議所青年部 那覇商工会議所青年部

2004年1月15日～2月2日

過去の情報

- 2004年02月02日
- ▶ [第3回平成16年度役員予定者会議\(キャリアック研修\)の報告](#)を掲載いたしました。
 - ▶ [お待たせいたしました。2003年11月8日に行われた筑紫哲也様と商青連・鈴木会長の対談](#)を掲載いたしました。
 - ▶ [第二回YEG全国ビジネス交流会開催の報告](#)を掲載いたしました。
 - ▶ [コミュニティビジネス委員会から平成16年度 第1期セブン-イレブンみどりの基金のお知らせ](#)です。
 - ▶ [和歌山県商工会議所青年部連合会役員会レポート](#)を掲載いたしました。
 - ▶ [メールマガジン第十九号](#)を発行しました。
 - ▶ 次回更新(2月15日)のホームページ並びにメールマガジンは全国会長研修会ふくい会議が開催されるため3月1日に延期させていただきます。

- 2004年01月15日
- ▶ [YEG ビジネスプランコンテスト2次審査の結果](#)です。
 - ▶ [YEG ビジネスプランコンテスト応募募集計並びに1次審査の結果](#)です。
 - ▶ [YEG 大賞2次審査の様子](#)を掲載いたしました。
 - ▶ [YEG ビジネス交流会、参加締切を20日まで延長!](#)です。
 - ▶ [お待たせ致しました。『翔生 36号』](#)を掲載しました。
 - ▶ 去年行われた九州ブロック大会(高鍋大会のレポート)を掲載しました。
 - ▶ [メールマガジン第十八号](#)を発行しました。

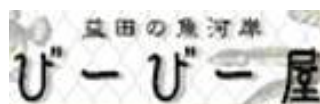


シンポジウムやセミナー等で
リアルタイムに意識調査



SAISON FACTORY INC.

12週で分かる 櫻庭周平著
社長の計数



平成16年2月2日 発行

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会 情報提供メールマガジン Y E G NEWS 第十九号

Y E Gが創る美しい日本—自分から、自分らしく、皆のために—

「Y E G NEWS」は、全国の商工会議所青年部会員の皆様に役立つ情報を発信するメールマガジンです。

より詳しい情報はホームページからご覧下さい。 ⇒ <http://yeg.jp>

== ■第十九号 目次■ =====

- 鈴木 悌介会長より
- 宮津 YEG 大村 利和監事様より
- ホームページ新着情報 (5件)
- 平成16年度 委員会専門委員募集延長!!
- 各委員会からの連絡 (2件)
- 日本商工会議所からの連絡 (6件)

※メールマガジンの配信停止、宛先変更をご希望の場合は、末尾の説明をお読みください。

■□ 鈴木 悌介会長より <http://yeg.jp/slogan>

春よ、来い!

節分を迎えたとは言え寒さはもうしばらく続きそうです。暖かい春が待ち遠しい限りですが、嬉しいことばかりではありません。花粉症の人にとっては。

実は私もベテラン花粉症。気が重い季節です。鼻はズルズル、目はショボショボ、くしゃみはところかまわず、頭は重く、肩まで凝って・・・と悪いことばかり。でも、齢を重ねるごとに「それを恨んでいてもちっともいいことがなく自分が損するばかりだ」と思うようになってきました。

「エイヤ!」っと、ちょっと気合を入れ直して視点を変えてみると、花粉症のおかげで教えてもらったことがたくさんあることに気がつきます。普通に息ができ、普通に物が見え、普通に頭を使えることがどんなにありがたいことか、花粉症になって初めて気づいたことです。病気・障害とは、須らくそういうものかも知れません。本人はもとよりその人の周りで関わる人々に大切なことを教えてくれる。元気な時には意識もせずあたり前に享受していたものが、実は大変ありがたいものだということ。大袈裟かも知れませんが、花粉症になって一つ成長したと思えば、ちょっと病気や障害を持つ人に優しくなれたり、当たり前のことと思っていたことが本当は感謝すべきことだったということに気づかせてくれたり・・・。「花粉症ありがとう!」と無理やり思えば少しは気が紛れるかも。(とはいってもやっぱり辛いです。ヒャクション!)

失って初めてそのことのありがたさに気がつくということがあるようです。無い物ねだりはやめて、在るもの、与えられているものに感謝し、それを100%活かすという態度が有効のようです。

自分の商売でも、まちづくりでも、そして自分の人生でも。自戒を込めまして・・・。

さて、会長としての任期もあと残すところ2ヶ月となった今、改めて感じるのは「今こそ YEG の出番だ」ということです。自分なりに YEG のことを真剣に考え一所懸命に行動をすればするほど、この思いはますます強くなるばかりです。

繰り返しになりますが、YEGの本懐とは何でしょう？それは、「自分の商売をよくすること」、そして、「自分の商売を通じて社会貢献すること」だと私は思います。

マクロ的には局面的には経済の指標の改善が報じられていますが、私たち地域の中小零細企業にとっては相変わらずきびしい状況が続いています。世の中が、お客様が、大きく変わってしまった中で、私たち商売人も変わることが求められています。変わるとは「視点を変える、視野を広げる、新しい行動パターンに挑戦する」こと。そんな新しい自分に出会える場が YEG です。

自己責任の世界に生きる私たち中小零細企業は、自分が頑張り、自分で責任をとることはあたりまえです。が同時に、一人で壁にぶつかり、悩み行き詰まってしまうのではなく、「知恵を集め、力を合わせ、互いを活かしあう」ことも大切だと思います。そのための仲間と出会えるのが YEG です。

地域の課題が山積する中、行政・企業・住民といった枠組みを超えて発想し行動することが必要です。それができるのが YEG です。まさに「YEG の出番だ！」と申し上げる所以であります。

年度が変わり、各地単会、道府県連、ブロックの執行部も変わり、そして、商青連の役員も変わります。が、決して変わらぬのは「YEG の役割の重大さ」です。

来週はいよいよ福井での全国会長研修会です。全国からのお仲間とお会いしお話しできることに今からワクワクドキドキ、楽しみでなりません。

追伸：私の拙いメッセージに毎号お付き合いいただきましてありがとうございます。心より御礼を申し上げます。

ひとつお願いがございます。ご感想やご意見をお聞かせ願えませんでしょうか？この号でもいままでの号についてでも何でも結構でございます。以下のメールアドレスまで是非、お気軽にお寄せください。お待ちしております。teisuke@kamaboko.com

■□ 宮津 YEG 大村 利和監事様より

『鈴木年度がいよいよフィナーレ！』

最近、地球の回転が速くなったのかと思うくらい時が経つのが早く感じます。私が商青連と関わり出したのが平成 12 年度近畿ブロック代表理事という役職を不本意ながら？受けてしまってからですので、実際には平成 11 年 11 月の新潟大会からということになります。

平成 12 年度といえば鈴木会長が企画委員長をされるなか、鹿児島での全国大会の為（なのか趣味なのか？）大脇直前会長がほぼ毎日のごとくふんどし姿で闊歩され、竹川副会長がアントレ委員長として男共のケツを叩き「鉄の女の称号」を与えられた年でした。そんな中で私といえば「商青連史上最強？最悪のまぼろし（であって欲しい？）のプロ代軍団」と今でも語り続けられる 12 年度プロ代会の末弟として、愛情を持ってこき使われていたことをつい昨日のこのように感じます。

そんな形で商青連という組織にご縁を頂いてから、14 年度副会長、15 年度監事としてズルズル居座り気がつけば「アッ！」

と言う間に4年の月日が経ってしまいました。

さて、今振り返っても私が関わってきたこの4年間は商青連にとってある意味、激動の4年間であったように感じます。20世紀から21世紀へと時代の価値観が激変する中、我々経済人にとっても「変らなければならない事と変えてはいけない事」を見極め、行動を起こす事が最も重要であり、且つ最も難しいことであることは皆さん実感されていることと思います。そうした中、私が見る限り商青連という組織は見事なまでの見極めと行動を連携プレーで成し遂げたのではないかと思います。

平成12年度の「YEG 新未来創造」に向けての現状打破、平成13年度の「バーチャルからリアルへ」と現実に向けた実践展開、平成14年度の「立ち止まるな！」の掛け声と共に作り上げた志と組織力、そしてその結果、平成15年度には「YEGが創る美しい日本」という大志を生み出し、その志は血肉となり、やがて日本を動かす力へと動き出したと思います。

戦国時代がそうであったように、又、明治維新がそうであったように、時代が変わる時は変わる為に必要な人材が必然的にベストなタイミングで次々と現れ、時代に大きな渦を巻き起こし、やがて新しい未来へと変貌していくものです。この4年間は、まさにそうしたYEGの変革期であり渦中そのものであったように感じます。

そして鈴木年度のフィナーレと共に変革の大きな渦は終息し、「美しい日本」という実の収穫に向けてゆっくりと着実に歩み始めるのではではないでしょうか？

平成15年度商青連監事

宮津 YEG 大村 利和

■□ ホームページ新着情報

-
- ・第3回平成16年度役員予定者会議（キャリアック研修）の報告を掲載いたしました。
 - ・2003年11月8日に行われた筑紫哲也様と商青連・鈴木会長の対談を掲載いたしました。
 - ・第二回YEG全国ビジネス交流会開催の報告を掲載いたしました。
 - ・コミュニティビジネス委員会から平成16年度 第1期セブンイレブンみどりの基金のお知らせです。
 - ・和歌山県商工会議所青年部連合会役員会レポートを掲載いたしました。
 - ・次回更新（2月15日）のホームページ並びにメールマガジンは全国会長研修会ふくい会議が開催されるため3月1日に延期させていただきます。⇒詳細はホームページでご覧下さい: <http://yeg.jp>

■□平成16年度 委員会専門委員募集

最終締め切り 2月29日（日）まで一全国の仲間と委員会活動をしましょう。きっと新しい貴方が見つかりますー

【公募委員募集について】

専門委員の公募を皆様からのより一層のご期待にお応えすべく締め切りを2月29日（日）までさせていただきます。公募は商青連委員会の活性化と委員会活動を目的に募集いたしております。でも、それだけではありません。

公募委員の方は地域と全国をつなぐパイプラインでもあります。心よりお待ちしております。

【専門委員を募る委員長の熱いメッセージ】

<研修委員会> 委員長 池戸 一成

「参加してよかった！」といただけた研修事業を開催しよう！と委員会メンバー丸となってスタートしました。熱いメンバーばかりで、機関銃のような意見交換がかわされており、楽しい雰囲気の中盛り上がっています。熱いのお好きな方、お待ちしております。

<広報委員会> 委員長 巢山 和枝

ほんと、今商青連は熱い！です。広報委員会ではその熱い人の輪である商青連を、ある時は熱く、またある時は冷静に情報で結びます。自分の商売や商青連を或は日本経済を真剣に見つめ直したい方、広報委員会の活動の中でその答えを探して下さい。全ての情報が集まっています。

また16年度の広報委員長は、委員長なのに、パソコン等機械に弱く困っています。その方面に強く、またボランティア精神溢れる方、大歓迎です。愉快的仲間も待ってるよ！！
追伸 16年度の広報委員会は15年度のように忙しくありません。

<コミュニティビジネス委員会> 委員長 松田 善信

今、YEGに必要な事それがこのコミュニティビジネス委員会です。まだまだわからない点がありますが、一緒に勉強しながら全国に啓蒙していきましょう。それと商青連全国コミュニティビジネス協議会の事務局としてこれから機能させていくところです。決して難しくありません。YEGの情熱をお持ちの皆様、大歓迎です。委員会一同全国の熱い方々お待ちしております。

<ビジネスネットワーク委員会> 委員長 鳥沢 加津志

皆さん現状に満足していますか？この厳しい状況の今こそYEGが必要でなくてはなりません。また、そんなYEGにしなくては行けません。ビジネスネットワーク委員として全国のYEGメンバーに「ご縁満開YEGビジネスサイト」を普及啓蒙活動しませんか？活動を通し全国にYEGでのビジネスの可能性を広げ、ビジネス交流状況取材し実の有るYEGにしたいと熱い思いの有る方を待っています。

⇒詳細情報: <http://yeg.jp/20031211/index.html>

■各委員会からの連絡

●コミュニティビジネス委員会

関東経済産業局が事務局になり、ネットワークを構築し、コミュニティビジネスの新たな事業創出を進める組織です。

参考になるホームページの一覧をご紹介します。 ⇒詳細情報: <http://yeg.jp/chart/community/index02.html>

7月にサービスを開始した「ご縁満開YEGビジネスサイト」も1月現在400を超す会員企業様に登録をして頂いています。日々増加中です。年度内500社登録を目指していますが、知り合いでまだ登録されていない会員には是非登録をお勧めして下さい。

既に登録の皆様には、もっと詳しい商品・サービスのデータや画像を載せてもらうなど登録内容充実とビジネスボードの積極的活用をお願いいたします。どうぞ毎日の日課に、ビジネスサイトへお越し下さい。 ⇒ログイン画面: <http://at.yeg.jp/business/>

アカウントはエンジェルタッチと共通ですが、「ご縁満開YEGビジネスサイト」利用者は単独でも申請できます。

アカウント取得方法は上記のURLよりアクセス、ログイン画面に記載してあります。

●広報委員会

商青連ホームページにおけるバナー広告の募集！！平成15年度 商青連のホームページにバナー広告を募集致します。

詳しくは、ホームページをご覧下さい。⇒詳しくはこちらから: http://yeg.jp/chart/newsletter/newsletter_news01/index.html

翔生36号がホームページからダウンロード出来ます。是非ご覧下さい。又単会の役委員会の席で配布をお願い致します。

⇒ダウンロードはこちらから: <http://yeg.jp/shosei/36/>

■□ 日本商工会議所からの連絡

●お役立ち情報

【中国ビジネス研究会・メンバー募集中（年会費無料）】

日本商工会議所はこのほど、「全国商工会議所中国ビジネス研究会」を設置し、全国の商工会議所会員企業の中で、中国とのビジネスに関心がある中小企業等を対象にメンバーの募集を開始しました。

メンバーには中国の投資環境・貿易取引などに関する情報をEメールで無料配信するほか、セミナーの案内、訪中使節団の案内などのサービスを提供します。また、対中国ビジネスについての具体的な相談にもアドバイザーグループを活用、専門機関などの紹介により対応します。年会費などメンバー登録にかかる費用は一切不要です。

3月8日（月）には、同研究会の発足を記念して「勃興する東アジアと中国経済」（仮題）をテーマに講演会を開催します。講師は、経済産業研究所上席研究員の津上俊哉氏と信金中央金庫総合研究所業務相談室長の篠崎幸弘氏。場所は東京商工会議所ビルで午後3時から。参加費は無料。定員200名で先着順です。

▼講師の津上氏の紹介はこちらをご覧ください。 <http://www.rieti.go.jp/users/tsugami-toshiya/library/index.html>

▼同研究会への入会および講演会への申し込みは以下をご覧ください。 <http://www.jcci.or.jp/china/>

<http://www.jcci.or.jp/nissy/publication/2004010601.html>

[お問い合わせ先]

日本商工会議所 国際部／進藤、佐々木 <mailto:kokusai@jcci.or.jp> (TEL: 03-3283-7762)

【メーカー保険販売のご案内】

独立行政法人 日本貿易保険は、2003年4月1日より、国内製造業者を対象とした短期限度額設定型貿易保険（製造業用：通称 メーカー保険）の販売を行っております。

この保険は、1年間の特定のバイヤーと繰り返し行われる輸出または仲介貿易を対象に、輸入制限、為替取引の制限、

バイヤーの法的倒産、支払遅延等の事由に起因して発生する船積不能及び船積後の代金回収不能に対して予め設定する支払保険金限度額の範囲内で保険金をお支払いします。

この新商品の販売については、日本貿易保険の本店、名古屋・大阪支店及び東京海上火災保険、三井住友海上保険、損害保険ジャパンで行っております。詳しくは以下をご覧ください。⇒詳細情報: http://nexi.go.jp/insurance/ins/ins_tanki_frame.html

[お問い合わせ先] 日本貿易保険 (NEXI) 新商品販売グループ (TEL: 0120-671-094)

【新商品の販売開始のご案内】

独立行政法人 日本貿易保険は、2003年10月1日より、知的財産権等のライセンスビジネスの国際展開を支援するため、ライセンシーの不払いや送金規制の導入により、知的財産権等のライセンスに係るロイヤリティーの回収が出来ない場合の損失をカバーする保険の販売を開始しました。

この保険では、ライセンス契約期間のうち、原則5年間に発生する支払いリスクをカバーし、保険金の支払限度額を設定するなど、ライセンス契約の特徴を踏まえた新しい内容となっています。

この新商品の販売については、日本貿易保険の本店のみのお取り扱いとなっています。詳しくは以下をご覧ください。

⇒詳細情報: http://nexi.go.jp/topics-s/doc/ts_030929_01.doc

【貿易保険ご利用のご案内】

◆商工会議所の会員の皆様へ～あなたの会社のリスク管理は大丈夫ですか～◆

経済産業省所管の独立行政法人 日本貿易保険は、皆様の海外との取引における決済リスクを広範囲にカバーしております。輸入制限、為替取引の制限、バイヤーの法的倒産、支払遅延等の事由に起因して発生する船積不能及び船積後の代金回収不能の損害に対して保険金をお支払いいたします。また、海外の投資活動における収用、権利侵害、戦争、天変地異やテロ、SARSによるリスクもカバーしております。詳しくは以下のホームページをご覧ください。: <http://nexi.go.jp/>

[お問い合わせ先]

日本貿易保険 (NEXI) 営業推進グループ (TEL: 0120-672-094)

◆問い合わせ: 日本商工会議所 中小企業振興部 (TEL: 03-3283-7826)

●都市と農山村交流をテーマにしたシンポジウム 参加者募集中

都市と農山漁村の共生・対流推進会議 (鈴木・商青連会長は設立発起人の一人) の主催で、2月25日 (水)、東京商工会議所ビルにて、第1回目の「オーライ! ニッポン全国大会」が開催されます。

「都市と農山漁村の共生・対流で変わるライフスタイルと地域経済」をテーマとして、俳優の永島敏行氏の講演を始め、優れた取り組みとしてオーライ! ニッポン大賞を受賞した方々の事例紹介、有識者によるパネルディスカッション、「オーライ! ニッポン大賞」「むらの伝統文化顕彰」「農村アメニティ・コンクール」「食アメニティ・コンテスト」の表彰式も同時に行います。⇒詳細情報: <http://yeg.jp/20040119/index.html>

●雇用形態の多様化に伴う人事戦略

厚生労働省の関係団体である雇用・能力開発機構では、雇用や社員の能力開発に関する講演会、セミナー等を開催しています。

⇒詳細情報: <http://www.ab-garden.ehdo.go.jp/News/index.html#kouen>

●「企業年金制度研究会」のご案内

◆中小企業庁では、「企業年金制度研究会」を、平成16年1月下旬から3月上旬にかけ、全国主要9都市（札幌、仙台、さいたま、東京、名古屋、大阪、広島、松山、福岡）で15回にわたり開催致します（受託機関：株式会社大和総研）。研究会では、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー等のコンサルタントや中小企業の方々を対象に、企業年金に係る具体的な制度移行事例等を紹介致します。参加は無料ですが事前の申込が必要（参加申込は専用ホームページからのみ）。定員は先着100～300名（会場により定員が異なります）。詳しくは以下をご覧ください。

○開催概要: http://www.chusho.meti.go.jp/antei/031216nenkin_kenkyukai.htm

○参加申込専用ホームページ: <http://www.cp-kenkyukai.jp/kaijyou.html>

[問い合わせ先]

(株)大和総研（年金制度コンサルティング部）FAX：03-5620-5932 E-mail: entry@rc.dir.co.jp

●中小企業のナノテク製品・技術をPRします。～あなたの会社もナノテク製品・技術データベースに登録しませんか？

21世紀を牽引する技術としてナノテクが注目されています。この分野では中堅・中小企業の保有する高度な技術の果たす役割が期待されています。ところが一般的には、こうした高い技術を持っていても、広く認知されていない企業が多いのが実情です。

このため、経済産業省の認可法人である（財）金属系材料研究開発センター（JRCM）では、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの委託によりナノテク・製品技術の総合データベースを構築しました。

これは広く企業の保有するナノテク製品・技術を収集し、公開し、新たな企業の出会いの機会を増やすことにより、ナノテクノロジーの研究促進と早期事業化を狙ったものです。

わが国で唯一の「ナノテク製品・技術データベース」に貴社の製品・技術を登録して貴社のPRに役立てませんか？

ナノテクに関連があるものなら何でもOK！～例えばナノテク技術を使った口紅等も登録されています

登録方法は簡単、しかも無料！ ⇒詳しくはこちら: <http://www.jrcm.or.jp/index.htm>

お問合せ先 （財）金属系材料研究開発センター 総務企画部 TEL 03-3592-1282

●商工会議所ビジネス認証サービスのお知らせ

日本商工会議所は、国土交通省、各地方自治体などで導入されている「電子入札コアシステム」に対応した電子証明書（ICカード）を販売しています。

このほど、ブリッジ認証局との相互接続が完了いたしました。これにより、国土交通省等の中央省庁の電子入札案件へ日本商工会議所発行のビジネス認証サービスタイプ1電子証明書を使用してのご参加が可能となっております。

詳しくは「ビジネス認証サービス（タイプ1）」の申し込み受付などを行う専用サイト「ビジネス認証サービス」をご覧ください。

⇒詳細情報はこちらから: <http://yeg.jp/jcci/ninsho>

日商では今後、国税の電子申告・納税や雇用保険の被保険者の資格取得届など電子化が予定されている各種手続きに対応した

「一般行政手続き用」と「BtoB電子商取引用」の2タイプの電子証明書も順次発行していく考え。

電子入札を含めた複数の証明書を扱う「総合認証局」として商工会議所会員事業所などに対するサービス強化を目指すことにしています。

メールマガジンバックナンバー3月1日第二十号

平成16年3月1日 発行

== ■第二十号 目次■ =====

- 鈴木 悌介会長より
- 美唄YEG 永桶 裕明監事より
- ホームページ新着情報（6件）
- 各委員会からの連絡（3件）
- 日本商工会議所からの連絡（7件）

■□ 鈴木 悌介会長より <http://yeg.jp/slogan>

福井ではお世話になりました！

全国会長研修会ふくい会議には、大勢の全国各地の単会のリーダー、そして事務局の皆様にご集まっていたいただきありがとうございました。手前味噌ながら、有意義な時間を共有していただけたのではと思っております。分科会の議論の場での皆様の真剣な眼差しに、YEGの素晴らしさを改めて実感いたし、背筋が伸びる思いでございました。

粉骨砕身、全国の仲間のためにご尽力いただいた主管の福井 YEG とそれをお支えいただいた福井県連の皆様へ心からの拍手をお贈りしたいと存じます。主催者の商青連として至らぬ点は多々あったかとは思いますが、それは明日への進歩への糧とさせていただきます。ご容赦いただければ幸いです。

さて、このメールマガジンを通じての私の出番も残り少なくなって参りました。ありがたいことに、私の拙いメッセージをお読みいただいている会員の方から時々、励ましやご意見やら、たまにはお叱りやらをいただきます。先日、とても嬉しいメールをいただきましたので、その一部をご本人のご了解の下に紹介させていただきます。

（前略）34歳までJCに所属しておりましたが、新店舗の出店にともないJC活動もおろそかになり32歳ころからスリーピング会員状態になり34歳で退会しました。3年間位何も所属せずひたすら仕事仕事にあけていりましたが、ふとこのままでいいのかなあ、自分の商売は地域の人にかわいがってもらっているのに地域の人とのかかわりがほとんどない状態でもいいのかなあ、と思いはじめ、以前に叔父が入っていた青年部に入会しました。

最初の1~2年はただ参加するだけでしたが、参加すればするほど、いろいろな方とお出会う機会もふえ、自分の商売に役立つ情報もたくさん入るようになり、これをうちの会社に取り入れようと思うことも多々あって、実際に取り入れるようになりました。仕事仕事にあけくれていたと思っていた数年、さまざまなトラブルや問題があり、「なんでこんなに俺仕事しているのに次から次へといろんなことが起こるねん」といつも悩んでばかりいたのですが、青年部に入会してから、だんだんそういった悩みがなくなってきたようです。今思うと仕事仕事で結局自分のことばかり考えていた自分を誠めるかのようにトラブルや問題が起こっていたように思えてしかたがありません。また本当の意味での仕事をしていなかったようです。

今の自分にとってYEG活動はなくてはならないビジネスライフの一環になっており、「今こそYEG」とおっしゃる会長の言葉そのものが今の私には素直に受けいれられてきます。(後略)

YEGとは本当にたくさんの学びと気づきを得られる場です。「視点を変える、視野を広げる、新しい行動パターンに挑戦する」そんな新しい自分に出会える場です。自分の関わり方しだい、自分の心の置き所しだい・・・どうか、ご自分流のYEGライフを楽しんでください。そのために、せいぜい商青連をご活用いただければこの上ない幸せです。

PS:引き続き、ご意見、ご感想をお聞かせください。皆様からいただくメールが私の元気の素です。teisuke@kamaboko.com

■ 美唄YEG 永桶 裕明監事より <http://yeg.jp/slogan>

『経済人としての社会貢献とは』

4年間の商青連出向生活も終盤となり、改めてその活動を振り返って見ると沢山の思い出が甦ってきます。平成11年11月の全国大会新潟大会での平成12年度予定者会議が私にとっての商青連活動のスタートでした。経験及び勉強不足のため、全てが手探り状態でしたが多くの友情に支えられ、何とか今日を迎えることができました。

1年目の出向理事ではアントレプレナーズ委員会に配属となり、情報化部会に所属し、全国各地から専門委員として出向されたメンバーの皆さんと共に、情報化推進による各単会及び個人への、商青連からの情報発信のシステム創りやビジネスサイトの構築を目標に活動を行ないました。2年目はブロック代表理事として他の8名のブロ代と共にブロック大会の運営や全国大会及び全国会長研修会への動員や運営の補助等、商青連と各単会とのパイプ役として活動を行なってまいりました。3年目は副会長として直接、商青連の運営を担当する立場となり全国各地を駆け巡りながら商青連活動の必要性を訴へ、また、新たな特別委員会として、コミュニティビジネス委員会を設置し、新しいビジネスの手法として情報を全国に発信してまいりました。そして4年目の本年、監事として商青連活動の監査を行なう立場で言えばアウトサイドで、熱心に多くの活動を行なう役員の皆様を拝見して参りました。

そして毎回、役員会の最後に行なう監事講評をさせて戴きながらあることに気付きました。それは、商青連に役員として出向される皆さんは、ブロック、県連、単会、それぞれの役員を兼務され、同時に各自の企業では、代表者或いはそれに準じた立場の方々

ばかりであり、商青連で担当される仕事のボリュームも年々その量を増しています。

このように、超多忙な活動を続ける役員の方々は、自社企業に関わるウエイトを削り、商青連活動に邁進されています。長い人生の中の一時期に全国を廻りながら自己の研鑽に励み、多くの友を創り、得るものは大変大きな物であると思います。この経験を活かし、青年経済人として自社企業の更なる発展や、新産業の創設にその情熱を傾ければ、必ず大きな成果が見られるものと確信しております。

我々経済人の目標は、経済活動の発展による利益の向上を図り、納税と言う形で地域や国に対する社会貢献を行なうことであると私は考えています。商青連での経験は必ず大きな成果となって貴方や企業に戻ってきます。夢を持ち、チャンスをつかむ勇気を忘れさえなければ。

平成15年度商青連監事

美唄 Y E G 永桶 裕明

■□ ホームページ新着情報

- ・全国コミュニティビジネスシンポジウムレポートを掲載いたしました。
- ・ふくい会長研修会レポートを掲載いたしました。
- ・中小企業委員会レポートを掲載いたしました。
- ・YEG ビジネスプランコンテスト表彰及び発表を掲載いたしました。
- ・YEG 大賞結果報告を掲載いたしました。
- ・平成16年度年間スケジュールを掲載いたしました。 ⇒詳細はホームページでご覧下さい: <http://yeg.jp>

■□ 各委員会からの連絡

●コミュニティビジネス委員会

関東経済産業局が事務局になり、ネットワークを構築し、コミュニティビジネスの新たな事業創出を進める組織です。参考になるホームページの一覧をご紹介します。 ⇒詳細情報: <http://yeg.jp/chart/community/index02.html>

●研修委員会

YEG ビジネスプランコンテストの表彰及び発表は全国会長研修会ふくい会議の YEG 総括の中で華々しく行われた。副賞として賞金総額 500 万円という破格の賞金を用意した。平成 15 年度商青連の目玉事業の一つであるこのコンテストは YEG として初めての取り組みで、平成 15 年 12 月 25 日(木)に第 1 次審査、平成 16 年 1 月 8 日(木)に第 2 次審査を行った。グランプリとも言うべき中小企業庁長官賞(副賞 300 万円)は美唄 YEG・永桶裕明さんと宮津 YEG・大村利和さんの「木質廃材活用による新エネルギービジネスプラン」が獲得した。

日本商工会議所会頭賞(副賞 150 万円)はご当地福井 YEG・山岸寛士さんの「サービス業界の接客・技術を抜本的に改善するコールセンター機能付き APS システム販売事業」が獲得した。コミュニティビジネス賞(副賞 50 万円)は足利 YEG・笠原健一さんの「県産小麦の消費拡大を目指した小麦粉加工販売業者のビジネスネットワーク」が獲得した。また、志よし賞として深谷 YEG・松本清

さん、YEG ネットワーク賞として平塚 YEG・城所孝さんと帯広 YEG・後藤健市さん、審査員特別賞として福島 YEG・阿部幹郎さん、福井 YEG・林洋三さん、松江 YEG・石橋広光さん、岡山 YEG・山本守さんらが獲得した。各表彰に続き中小企業庁長官賞、日本商工会議所会頭賞、コミュニティビジネス賞はプレゼンテーションタイムを設けプランを熱く語った。特にグランプリの永桶さんの店頭公開への強い意志が参加者に強い感動を与えた。平成 16 年度も引き続きこの事業を継続することが会員総会で決定している。

このコンテストが新規ビジネスや店頭公開企業の登竜門に成長してくれればと強く思う。

●広報委員会

商青連ホームページにおけるバナー広告の募集！！16 年度も引き続きバナー広告を募集致します。ご協力をお願い致します。

詳しくは、ホームページをご覧ください。⇒詳しくはこちらから：http://yeg.jp/chart/newsletter/newsletter_news01/index.html

翔生 37 号がホームページからダウンロード出来ます。是非ご覧ください。又単会の役委員会の席で配布をお願い致します。

⇒ダウンロードはこちらから：<http://yeg.jp/shosei/>

■□ 日本商工会議所からの連絡

●お役立ち情報

【中国ビジネス研究会・メンバー募集中（年会費無料）】

日本商工会議所はこのほど、「全国商工会議所中国ビジネス研究会」を設置し、全国の商工会議所会員企業の中で、中国とのビジネスに関心がある中小企業等を対象にメンバーの募集を開始しました。

メンバーには中国の投資環境・貿易取引などに関する情報を Eメールで無料配信するほか、セミナーの案内、訪中使節団の案内などのサービスを提供します。また、対中国ビジネスについての具体的な相談にもアドバイザーグループを活用、専門機関などの紹介により対応します。年会費などメンバー登録にかかる費用は一切不要です。

3 月 8 日（月）には、同研究会の発足を記念して「勃興する東アジアと中国経済」（仮題）をテーマに講演会を開催します。講師は、経済産業研究所上席研究員の津上俊哉氏と信金中央金庫総合研究所業務相談室長の篠崎幸弘氏。場所は東京商工会議所ビルで午後 3 時から。参加費は無料。定員 200 名で先着順です。

▼講師の津上氏の紹介はこちらをご覧ください。<http://www.rieti.go.jp/users/tsugami-toshiya/library/index.html>

▼同研究会への入会および講演会への申し込みは以下をご覧ください。<http://www.jcci.or.jp/china/>

<http://www.jcci.or.jp/nissy/publication/2004010601.htm>

[お問い合わせ先]

日本商工会議所 国際部／進藤、佐々木 <mailto:kokusai@jcci.or.jp> (TEL : 03-3283-7762)

●「電子債権の活用のあるり方に関する実証事業」の実施について

経済産業省では、3 月 12 日（金）、15 日（月）に、企業金融、特に中小企業金融の円滑化に向けた新たな取組として、「電子債権の活用のあるり方に関する実証事業」を開催します。

この事業は、売掛債権の有効活用の促進、中小企業の決算書類の信用力強化や財務情報の開示を通じた資金調達の実現等の課題

解決に向けた取組の一環として行うものです。

当日は、中堅・中小企業、これらと取引のある大企業や金融機関が参加し、売掛債権の管理・譲渡等を電子的に行える「電子債権」を活用した新しい形の金融取引を疑似体験します。

現在、この事業への参画を希望する企業等の参加申込を受け付けています。参加は無料ですが事前の申込が必要。

詳しくは以下をご覧ください。 ⇒詳細情報: <http://www.meti.go.jp/kohosys/press/0004965/0/040220saiken.pdf>

[内容に関する問い合わせ先]

□経済産業省 産業資金課 電話：03-3501-1511（内線2641～5）

[参加申込に関する問い合わせ先]（株）日立総合計画研究所電話：03-5295-5899

●雇用形態の多様化に伴う人事戦略

厚生労働省の関係団体である雇用・能力開発機構では、雇用や社員の能力開発に関する講演会、セミナー等を開催しています。

⇒詳細情報: <http://www.ab-garden.ehdo.go.jp/News/index.html#kouen>

メールマガジンバックナンバー3月17日第二十一号

平成16年3月17日 発行

== ■第二十一号 目次■ =====

- 鈴木 悌介会長より
- 各委員会委員長より一年を振り返って
- ホームページ新着情報（6件）
- 商青連ホームページにおけるバナー広告の募集！！
- 商青連全国コミュニティビジネス協議会発足式が開催
- 日本商工会議所からの連絡（4件）

■□ 鈴木 悌介会長より <http://yeg.jp/slogan>

心からの感謝を込めて・・・

「今こそ、こういう時代だからこそ、YEGが出番だ！」。昨年4月、商青連会長としての第一歩を踏み出す時に思ったことあります。YEGについて自分なりに真剣に考え、自分なりに一所懸命活動してまいりましたこの一年間を振り返る時、今ほどその思いが強くなっている時はありません。

9つの異なる地域がその特色を精一杯表現しつつ、ヨコに繋がることができた9つのブロック大会、「全国大会米子大会」でのあの熱気、「全国会長研修会ふくい会議」の分科会での全国からの単会会長の皆さんのあの真剣な眼差し、初めての試みであった「YEG ビジネスプランコンテスト」、各地 YEG の事業のデータベース化を目指す「YEG 大賞」、3万人を繋ぐWEB版ビジネスネットワーク「ご縁満開 YEG ビジネスサイト」、「翔生塾」等々枚挙に暇がないくらい盛りだくさんの一年でした。そのひとつひとつの場

面で目撃させていただいた YEG メンバーの皆様の真剣な眼差しと枯れることのないエネルギー。そして、「自分だけでよければ」ではなく、「自分も皆も」という志の高さ。少し自信を失いつつあるこの国ではありますが、我々 YEG の素晴らしい仲間が「自分から、自分らしく、皆のために」手を携えて一步一步前に進むことが出来れば、私は必ずこの国を夢と品格のある「美しい日本」に創り直すことが出来ると確信しております。

地域で育ち、地域を良く知り、地域を愛する若い者たちが、その地域のために役立とうと、自らの商売を通じて、自ら考え自ら行動する各地の単会、道府県連、ブロック。そしてそのサポーターたらぬとする商青連。私はこの YEG に限りない可能性を実感しています。

先輩方の大変なご努力のおかげ様で生まれ成長してきた商青連という生命体が、新しい世紀に新しい使命を得た平成 15 年度でありました。力不足の会長故、その可能性を充分には開花させることは叶いませんでしたが、YEG が本当に必要とされるこの時代に、その新たな役割を果たしていくために必要な「力」と「しくみ」という果実の種蒔きはできたのかなと自負しております。そして、それらの種のいくつかは芽吹き始めたようです。まだまだ、ささやかな、か弱い芽であります。

平成 15 年度が終わろうとしている今、商青連も新しい年度に向けて力強く胎動を始めました。その芽に陽を当て、水をやり、必要に応じて肥料もやり、花を咲かせ、そして大きな実を結ぶように大切に大切に育てていこうという決心を胸に、その実行のための綿密な計画を携え、小園会長率いる素晴らしいスタッフの方々が勢ぞろいして、今か今かとスタートの号砲を待っています。次年度の商青連にも倍旧のご声援をいただけますれば幸いです。

どうか、商青連をご自分の単会、道府県連、ブロックの活動に、そしてご自分のご商売にせいぜいご活用ください。「美しい日本」の創造に向かって YEG は進化し続けます。もし使い勝手が悪いところがありましたら、ドシドシご意見をください。

最後になってしまいましたが、浅学非才の会長にお付き合いいただき、そしてたくさんの励ましを、時にはお叱りを、しかし、終始一貫暖かくお支えいただきました全国 401 単会、3 万人の会員の皆様に、そして身内ごとで恐縮ですが、素晴らしい平成 15 年度商青連役員の仲間に、衷心からの感謝を申し上げます。

平成 15 年度 第 21 代 全国商工会議所青年部連合会

会長 鈴木 悌介

■□ 各委員会委員長より一年を振り返って

【総務委員会より】

平成 15 年度総務委員会は総会・役員会等、諸会議の運営を中心に活動して参りました。テスト版 Web 会員総会やエンジェルタッチの本格的導入により未来型運営システムの構築の一助になったのではないかと思います。また総務最大の事業でありました、YEG 大賞も皆様のご協力で無事開催できました。全国各地で実施する YEG の事業を少しでも皆様に知っていただけたのではないかと思います。

最後に委員長としては力不足で鈴木会長、関専務はじめ役員の皆様、委員会の皆様にはご迷惑をおかけしたと存じますが、この一年間素晴らしい経験をさせて頂きました事に感謝と御礼を申し上げます。

総務委員会委員長 妹尾 隆哉

【企画委員会より】

鈴木会長から企画委員長の依頼があった時には、すでに単会の会長が決まった後。次年度の全国大会につながる大切な役割だということもあり、覚悟をしてお引き受けをしました。

メンバーには企画委員会経験者はゼロ。全くの素人集団でのスタート。多くの不安を抱えながら、前任者の清水さんから資料とアドバイスをいただき、手探り状態での活動が始まりました。

今年の企画委員会が目指したのは、全国各地で大会を担当する方々とのネットワークの構築。大会の進行にとって必要な大会マニュアルはすでに立派なものができあがっており、あとは社会環境の変化や地域の事情を踏まえた部分的な訂正を残すのみ。まずは各大会の実行委員会にこの資料にしっかりと目を通してもらうことが仕事だと考えました。もちろん、その場所の環境に応じたその時々解釈（変更も含め）も必要ですが、基本はやはり大切。商青連が主催、もしくは共催している以上、私たちにも責任があり、そのために言わなければならないことがあります。

実行委員会も商青連も目指しているのは「大会の成功」。しかし、考えはしばしば異なり、意見はぶつかります。これは決して悪いことではありませんが、立場だけでぶつかり合うと感情面でのしこりが残ります。前任の清水委員長も、このことでずいぶん苦労されたということを知り、この問題の解決のために委員会メンバーは知恵を絞りました。その結果、担当者との距離を縮めることがまず必要ということになり、要するに何度も会いお互いの考えや意見を受け入れられる素地を構築しようということになりました。

そのためには、春の会長会議からブロック回りをしなければなりません。北は北海道の留萌から、南は九州の高鍋。委員会メンバーには多大な苦労をかけましたが、各ブロックの実行委員会の協力もいただき何とか1回目の顔合わせを終了しました。そして、実行したのが、東京でのブロック大会連絡会議の開催。せっかく同じ年にブロック大会をやる仲間だから、私たちだけではなく、それぞれの実行委員会同士で顔合わせを行い、情報交換をしてもらいたいという思い。きっとそこから新しい気づきを得ることができるだろうと考えました。初めての試みということもあり、どれくらい集まるか不安でしたが、総数100名を超えるメンバーで大懇親会を開催することができました。

この2回の顔合わせがあり、全国各地で開催されたブロック大会に無事関わることができました。各ブロック大会の実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。

ブロック大会が終わると全国大会。米子の足立実行委員長のエネルギッシュなオンステージ（PR活動）に圧倒されながら、全国大会の意義と価値を考える1年となりました。金大中氏の来日の夢が叶わず、また衆議院選挙が重なるという2重3重のハードルが立ちはだかったにもかかわらず、そのハードルを1つ1つ越え、米子大会を無事終了させた実行委員会の皆様、本当にご苦労さまでした。荒濱大会会長と足立実行委員長、素敵なコンビでした。

そして最後は会長研修会。企画案のいきなりの差し戻しがあり、波乱のスタートを切りましたが、そのこともあり早い段階から林大会会長と清川実行委員長とも密接な話し合いが持つことができ、企画委員会としても大変勉強になりました。商青連の活動をテーマにしながらも、各単会の活動につなげていくための研修会。新しい試みがいくつもあり、今後の活動に多くの示唆を残すことができたと思います。福井の皆さんご苦労さまでした。

表に出る人、裏方に回る人、持ち場はそれぞれですが、どれも大切な役割。各大会で頑張っておられた顔、そして終わった後のホッとした顔を今も思い出します。

全国大会は16年度が帯広、17年度が豊田、会長研修会は16年度が岡山。それぞれすでに準備にかかっていると思いますが、ぜひ素敵な大会にしてください。また16年度の各ブロック大会も主催する側と参加側の両方にとって実り多いものになることを

祈念申し上げます。

最後になりますが、ちょっと手前味噌ですが、企画委員会のメンバーとして今年精一杯活動してくれた室賀副委員長、森岡副委員長、荒浜さん、福地さん、吉岡さん、藤田さん、谷脇さん、そしておやっさん（吉田さん）、1年間本当にありがとうございました。めちゃくちゃ忙しい1年でしたが、皆さんのお陰で最高の1年を過ごすことができました。

今年の活動を通して得たさまざまな気づき、皆さんとの出会いを大切に、今後の地域での活動に取り組んでいきたいと思います。1年間大変お世話になりました。感謝！

企画委員会委員長 後藤 健市

【研修委員会より】

平成14年11月8日（金）、全国大会大阪大会においての第141回役員会から始った商青連研修委員長の重責ももう少しで解かれようとしています。

「なぜ私が？」「コミュニティビジネス・NPOてなに？」「ビジネスプランコンテストってなに？」すべてが新鮮で気づきの多かった「人生の大切な思い出」となったこの1年半！そして「仲間」！

もし、あなたにこのような機会が巡ってきたら迷わず受けてください。このような素晴らしい機会を与えていただいた鈴木会長、齋藤副会長、永桶監事に深く感謝をいたします。

研修委員会委員長 浅井 秀明

【広報委員会より】

13年11月小田原の全国大会から早2年4ヶ月がすぎました。

御坊商工会議所青年部が出来、6年目3代目の単会会長で初めて、県連会長また出向理事と3つの大役を頂き、14年度が始まりました。何気なく選んだ企画委員会に所属が決まりキャリアックで林君（福井会長研修会大会会長）の一言で企画副委員長に任命され、清水企画委員長（15年度副会長）の指示通りに活動を行っていた。何を間違ったのか14年の10月に驚きの電話（悪夢のささやき）を頂き、15年度広報委員長の大役を頂きました。2年続けて鬼の清水の元、手配のやり方を始め商青連の組織その他色々な事をご指導頂き、何とか最後のメールマガジンを配信・ホームページの更新・石垣の原稿集めを無事に終了する事ができました。

これも執行部をはじめ日商 佐藤課長様・関口様・高野様・広報部高取様や各地商工会議所青年部担当職員様（影武者様）のご協力のお陰です。ここから感謝を申し上げます。今年度初めての試みでホームページ・メールマガジン月2回配信、また翔生をPDF化しホームページよりダウンロード形式で4回作成させて頂きました。この経験を今後役立てていきたいと思います。最後に頼りない委員長の下、個性豊かなメンバーに恵まれ楽しい1年間を過ごさせて頂きました。一生の宝物にさせて頂きます。

広報委員会委員長 丸山 信仁

【コミュニティビジネス委員会より】

平成15年度コミュニティビジネス委員会はコミュニティビジネスを立ち上げたYEGの仲間たちのネットワークを構築し、お

互い情報交換をしながら発展できる組織を作ることが大きな課題でした。そして、コミュニティビジネスの大きなうねりをYEGから発信することを目指して活動を行ないました。

具体的には、より多くの単会、会員の皆様にコミュニティビジネスを知っていただくための資料や立上げのためのマニュアルの作成を試み、さらには全国の単会の事業をコミュニティビジネスの視点から見直してもらおうとアンケートも実施させていただきました。少し欲張りすぎたため、皆様方にご迷惑をかけたところも多々あったと反省しております。

各地の皆様にはブロック大会で分科会や会長会議で報告の場をご用意いただき、福井の全国会長研修会では「YEGとコミュニティの鍵」分科会を設けていただきました。より多くのメンバーにコミュニティビジネスの可能性を感じていただくことができたと思います。そして、我々も全国各地でコミュニティビジネスが確実に根付きつつあるのを実感させていただきました。

昨年来の懸案であったコミュニティビジネスを志すYEG仲間のネットワーク組織づくりは「商青連全国コミュニティビジネス協議会」として、12月の役員会で会則を承認いただき、3月2日に鈴木会長、小園次年度会長にもご出席いただいて発足式を開催いたしました。現在、広く会員を募集しておりますので、コミュニティビジネスにご関心のある方は是非この協議会をご活用いただきますようお願いいたします。

このような活動を通してYEGがコミュニティビジネスに目を向けることが地域活性化のために大いに意義あることを確信いたしましたので、提言としてまとめさせていただきます。

委員会メンバーには初めて聞くコミュニティビジネスという概念に戸惑いながらも、自らの持分をしっかりと担当いただき、コミュニティビジネスについての見識を深めると同時に、全国への発信にご尽力いただきました。全国の皆様に支えられ、楽しくも有意義な委員会が出来たことを感謝申し上げます。最後になりましたが、皆様のご発展を祈念し、お礼とさせていただきます。ありがとうございます。

コミュニティビジネス委員会委員長 梶谷 俊介

【ビジネスネットワーク委員会より】

全国3万人のYEG企業に新たなチャンスを提供すべく、ご縁満開YEGビジネスサイトを構築、目標であった500社を超える登録をいただきました。そしてブロック、全国合わせて11回のビジネス交流会には約450名という多くの皆さんに参加いただくことができました。

ビジネス系委員会を引っ張っていくには、委員自らがビジネスマインドを持ち一所懸命ビジネスをされている中小企業経営者の気持ちにたって運営に当たらなければ、行政が進める企業支援とあまり変わらないのではと思っていました。

ところが委員長という仕事は「私」よりも「公」優先。なかなか自分のことは後回しになっていました。一時は「今年も自分はビジネスにつながらなかった」という結果になるのかなと思っていました。

しかし、10回を超える委員会やビジネス交流会の中で皆さんのビジネスに対する情熱を僕はしっかり吸収していました。私事ではありますが3月でお役目を終えると同時に春より新しいビジネスをスタートさせます。知らず知らずの内に、自分の中のベンチャースピリットが頭をもたげていたようです。

結局、委員長である僕が一番得をしたのかもしれません。多くのビジネスマインド、ベンチャーマインドをYEGからいただきました。本当にありがとうございました。そしてこれからもがんばります。15年度委員会は終わりますが、ビジネスは永遠に続

きます。

ビジネスネットワーク委員長 高橋 茂

■□ ホームページ新着情報

- ・「商青連全国コミュニティビジネス協議会」設立のご案内と会員募集のお知らせについて。
- ・「YEG ビジネスプランコンテスト」応募プラン無料コンサルティングのご案内について。
- ・翔生創刊号より38号までPDF化を行いました。おもしろ情報が満載です。是非ご覧下さい。
- ・商青連20周年記念誌がPDF化行いました。今後のYEG活動に参考にして下さい。

⇒詳細はホームページでご覧下さい: <http://yeg.jp>

■□ 商青連ホームページにおけるバナー広告の募集！！

16年度も引き続きバナー広告を募集致します。ご協力をお願い致します。詳しくは、ホームページをご覧下さい。

⇒詳しくはこちらから: http://yeg.jp/chart/newsletter/newsletter_news01/index.html

■□ 商青連全国コミュニティビジネス協議会発足式が開催

商青連全国コミュニティビジネス協議会発足式が開催されました。

3月2日(火)14:00~17:00に商青連全国コミュニティビジネス協議会の発足式が開催されました。鈴木会長、小園予定者、土橋顧問のご臨席の上、30名が集まったの発足式でした。コミュニティビジネスへの熱い思いや悩みなどの情報交換も行き、この協議会をコミュニティビジネス推進の大きな力に育てることを誓い合いました。

現在会員を募集しておりますので、コミュニティビジネスに関心のある方は是非ご入会ください。全国の実践事例などホットな情報がありますよ。募集案内は別紙、会則、入会申込書は以下をご覧ください。

○会則 <http://www.cin.or.jp/yeg/kaisoku-cb.doc> ○申し込み用紙 <http://www.cin.or.jp/yeg/cb.htm>

■□ 日本商工会議所からの連絡

●お役立ち情報

【日本商工会議所の街づくり情報ナビゲーター】 <http://www.jcci.or.jp/machi>

日本商工会議所は、全国各地で取り組みが活発化している街づくりを積極的に支援しています。日商のHP「街づくり情報ナビゲーター」(街ナビ)では、地域特性を活かした様々な街づくりの取り組みをはじめ、地域のイベント・シンポジウム情報、「街づくり3法」に関する動きなどをリアルタイムで紹介しています。コミュニティビジネスのコーナーもありますので、ぜひご利用ください。

<メールマガジン「街づくりニュース」のお知らせ>

「街づくり情報ナビゲーター」の最新メニュー等を紹介するメールマガジン「街づくりニュース」（毎月1日配信予定）を無料でお届けしています。配信ご希望の方は、（1）お名前（フリガナ）／（2）会社名・所属 部署名（学生の方は学校名）／（3）住所／（4）TEL・FAX 番号／（5）配信先の電子メールをご明記のうえ、下記までお申込み下さい。

◆お申し込みはこちらまで⇒ Ryutsu@jcci.or.jp

●中国ビジネス研究会・メンバー募集中（年会費無料）】

日本商工会議所はこのほど、「全国商工会議所中国ビジネス研究会」を設置し、全国の商工会議所会員企業の中で、中国とのビジネスに関心がある中小企業等を対象にメンバーの募集を開始しました。

メンバーには中国の投資環境・貿易取引などに関する情報をEメールで無料配信するほか、セミナーの案内、訪中使節団の案内などのサービスを提供します。また、対中国ビジネスについての具体的な相談にもアドバイザーグループを活用、専門機関などの紹介により対応します。年会費などメンバー登録にかかる費用は一切不要です。

▼3月8日に行われた「全国商工会議所中国ビジネス研究会」発足記念講演会の様子はこちらから

<http://www.cin.or.jp/yeg/china.htm>

▼講師の津上氏の紹介はこちらをご覧ください。 <http://www.rieti.go.jp/users/tsugami-toshiya/library/index.html>

▼信金中央金庫総合研究所・アジア業務相談室のレポートはこちらから <http://www.scbri.jp/soudansitujouhou.htm>

▼同研究会への入会申し込みは以下をご覧ください。 <http://www.jcci.or.jp/china/>

[お問い合わせ先] 日本商工会議所 国際部／進藤、佐々木 kokusai@jcci.or.jp (TEL: 03-3283-7762)

●雇用形態の多様化に伴う人事戦略

厚生労働省の関係団体である雇用・能力開発機構では、雇用や社員の能力開発に関する講演会、セミナー等を開催しています。

⇒詳細情報: <http://www.ab-garden.ehdo.go.jp/News/index.html#kouen>

●さまざまな場面に応じた電子証明書を発行しています。 ～商工会議所ビジネス認証サービス～

日本商工会議所ビジネス認証サービスでは、入札コアシステムや電子納税・申告に対応したタイプ1-A、一般的な行政手続時に使用できるタイプ1-E、行政書士の方が行政手続を行う際に使用するタイプ1-Gと現在、3種類の電子証明書の発行を行っています。詳しくは「ビジネス認証サービス」のサイトをご覧ください。 ⇒詳細情報はこちらから: <http://yeg.jp/jcci/ninsho>

■□ お問い合わせなど

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会メールマガジンに関するお問合せは下のアドレスより承ります。

◆配信先変更・解除 ⇒ http://yeg.jp/mail_mag

◆バックナンバー ⇒ http://yeg.jp/mail_mag

◆感想・要望・お問合せ⇒ <mailto:info@yeg.jp>

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会

メールマガジン Y E G NEWS

発行：日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会 <http://yeg.jp>

編集：広報委員会 <mailto:info@yeg.jp>

Copyright 2003 Young Entrepreneurs Group. All Rights Reserved.
